

V. 皮膚科

<i>P.1</i>	2005年	卒業試験
<i>P.10</i>	2004年	卒業試験
<i>P.20</i>	2003年	卒業試験
<i>P.32</i>	2005年	概説試験
<i>P.40</i>	2004年	概説試験

2005年度卒業試験(持ち帰り可)

平成17年11月28日実施

標準皮膚科学第7版、戸田新細菌学改訂第32版を参考に解答を作製した

【1】正しい組合せはどれか。

- (1)晩発性皮膚ポルフィリン症：血管周囲のPAS陽性物質 (2)単純性表皮水疱症：基底細胞の変性
 (3)Hailey-Hailey病：間擦部に生じる角化性丘疹 (4)水疱性類天疱瘡：基底膜成分に対する自己抗体
 a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 d (4) 標準170 IgG抗表皮基底膜部抗体を示す代表的疾患 Nikolsky陰性

- (1) 標準414 PAS陽性(菌要素)はスポロトリコーシス、ノカルジア症、放線菌症など
 (2) 標準177 基底細胞の融解が起こる (3) 標準175 間擦部に生じるびらん局面

【2】正しいのはどれか。

- (1)紫斑は硝子圧にて消退する (2)膿疱は真皮上層の好中球の集簇である
 (3)水疱には表皮内あるいは表皮下のものがある
 (4)基底層の液状変性はSLE、皮膚筋炎、ピダール苔癬で見られる (5)掌跖膿疱症の膿疱は無菌性である
 a.(1),(2) b.(2),(3) c.(3),(4) d.(3),(5) e.(4),(5)

解答 d (1) 標準53 消退するのは紅斑 (2) 膿疱は表皮内の白血球の集簇

(4) 標準63 基底細胞の変性の結果、基底細胞が不明瞭となった状態。SLE、皮膚筋炎、扁平苔癬などで見られる。解答選択肢よりこの選択肢は間違っているようだ。(今日の診療プレミアム)

【3】脱毛を起こすことがある疾患はどれか。

- (1)白癬 (2)梅毒 (3)エリテマトーデス (4)ハンセン病
 a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 e 卒試2004問2参照

【4】Langerhans細胞について誤っているものを一つ選べ。

- a.骨髄由来の細胞である。 b.Birbeck顆粒を有する。 c.インターフェロン γ を産生する。
 d.正常皮膚では真皮浅層の小血管周囲に多く認められる。
 e.毛包や脂腺、リンパ節や胸腺にも認められる。

解答 d 卒試2004問3参照 標準12 表皮内に常在。基底~有棘層の細胞間に散在。

【5】皮疹が列序性に配列することがある疾患はどれか。

- a.表皮母斑 b.太田母斑 c.老人性血管腫 d.脂漏性角化症 e.ボーエン病

解答 a 卒試2004問4参照 a. 標準310 片側性、列序性を示すものが多い。列序性とは母斑などがBlaschko lineに沿って線状に分布している様

【6】アトピー性皮膚炎について誤っているのはどれか。

- a.青年期以降に発症することもある。 b.ヘルペス感染症が合併しやすい。
 c.血清IgEが上昇することもある。
 d.白内障の合併に注意する必要がある。 e.確定診断には皮膚生検が必要である。

解答 e 卒試2004問7参照 標準83 診断に検査は必ずしも必要ではない

【7】23歳の男性。幼少児期よりアトピー性皮膚炎で治療を受けていた。2日前より突然39度の発熱とともに顔面、頸部、上胸部に小水疱が多数集簇性に出現し、一部びらん化、潰瘍化し、所属リンパ節も有痛性に膨張している。最も考えられるのはどれか。

a. 疱疹状皮膚炎 b. 天疱瘡 c. カポジ水痘様発疹症 d. 帯状疱疹 e. 水疱性類天疱瘡

解答 c 卒試2004問8参照 標準83、449

【8】蕁麻疹の原因として正しいものはどれか。

(1)ヘリコバクター・ピロリ菌 (2)自己抗体(抗IgEレセプター抗体) (3)消炎鎮痛剤 (4)慢性感染症

a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 e 卒試2004問10参照 標準144

【9】次の組み合わせで正しくないものを1つ選べ。

a.Sweet病：白血病 b.骨髄性プロトポルフィリン症：C型肝炎 c.壊疽性膿皮症：大動脈炎症候群

d.結節性紅斑：潰瘍性大腸炎 e.黒色表皮腫：肥満

解答 b 卒試2004問11参照 標準295

【10】症例は72歳の男性。肺炎で入院治療を受けていたが、1週間前から全身の皮膚に紅斑・糜爛が出現してきた。眼球結膜の充血がみられ、口唇にはびらん、口腔粘膜には白苔を伴っていた。皮膚生検で表皮真皮境界部へのリンパ球の浸潤と表皮基底層の細胞の壊死がみられた。この疾患で臨床的にみられる所見はどれか。

a.Dermography b.Nikolsky現象 c.Auspitz現象 d.Darrier徴候 e.Pautrier's microabscess

解答 b 卒試2004問13参照 標準159 TENと考えられる。

【11】22歳の女性。急性骨髄性白血病に対して寛解導入療法後、非血縁者間の骨髄移植を受けた。移植後35日目から発熱、下痢とともに手掌、頸部に紅斑が出現、次第に拡大するため受診した。皮膚生検では表皮基底層の細胞に空胞変性、壊死がみられた。この病態について誤った組み合わせはどれか。

(1)生じるとほとんどの場合致命的である。 (2)肝酵素の上昇を伴うことも多い。

(3)ステロイドの全身投与は効果があることが多い。

(4)輸血や肝移植など他の臓器移植時にもみられることがある。 (5)自家移植でもしばしばみられる。

a.(1),(2) b.(1),(5) c.(2),(3) b.(3),(4) e.(4),(5)

解答 b 卒試2004問14参照

【12】痒疹、蕁麻疹について正しいものを選べ。

(1)妊娠に伴うものがあり、妊娠性痒疹とよばれる。

(2)痒疹では一般に激しいかゆみを伴い、発疹は紅斑である。

(3)蕁麻疹でみられる発疹は膨疹であり、一般に個疹は数時間で消失する。

(4)蕁麻疹の治療には抗ヒスタミン剤を中心とした薬物療法が行なわれる。

a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 a 卒試2004問15参照 標準53、152 (2)× 痒疹は丘疹であるのが特徴。

【13】魚鱗癬について正しいものを選べ

(1)伴性遺伝性魚鱗癬では四肢屈側も侵される。 (2)後天性魚鱗癬は重篤な栄養障害に伴うことがある。

(3)伴性遺伝性魚鱗癬は毛孔性角化を伴う。 (4)尋常性魚鱗癬ではしばしば角膜混濁が認められる。

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 b 概説2005問7-IIに類似 (3) 尋常性魚鱗癬ではしばしば毛孔性角化を伴う。
(4) 伴性遺伝性魚鱗癬ではしばしば角膜混濁が認められる

【14】疾患と病理組織像の組み合わせで正しいものを選び

- (1)道化師様魚鱗癬：層板顆粒の異常または欠如 (2)水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症：顆粒変性
(3)尋常性乾癬：液状変性 (4)Thost-Unna型掌蹠角化症：顆粒変性 (5)扁平苔癬：不全角化
a.(1),(2) b.(1),(5) c.(2),(3) d.(3),(4) e.(4),(5)

解答 a 卒試2004問19に類似 (3) 液状変性はSLE、皮膚筋炎、扁平苔癬など (4) 顆粒変性(ー) (5) 扁平苔癬：過角化、コロイド小体、基底層の液状変性なども特徴

【15】乾癬の内服療法で一般的に使用されないものはどれか

- (a)メソトレキサート (b)エトレチナート (c)ステロイド (d)シクロスポリン

解答 c 卒試2004問17に類似 標準192 ステロイドは軟膏を使用する。
(b) エトレチナートとは合成レチノイド(ビタミンAに類似)のこと

【16】次の組み合わせで誤っているものを1つ選べ

- (a)扁平苔癬：Kobner現象(oにウムラルト) (b)膿疱性乾癬：Kogoj海綿状膿疱
(c)尋常性乾癬：Auspitz現象 (d)関節症性乾癬：RA因子陽性 (e)滴状乾癬：ASO高値

解答 d 関節症性乾癬のRA因子は陰性

Kobner現象：標準193 乾癬、扁平苔癬などの患者の非病変部皮膚に加わった外傷に対してみられる同形反応。典型的なものでは搔抓や癢痕部に一致して線状に皮疹が配列する。

Auspitz現象：紅斑局面上の鱗屑を剥離すると点状の出血をきたす現象。

【17】扁平苔癬について正しいものを選び

- (1)皮疹の表面にWickham線条がみられる。
(2)口腔内扁平苔癬ではしばしばC型肝炎の合併がみられる。
(3)病理組織像ではコロイド小体がみられる。
(4)口腔や粘膜部の扁平苔癬は扁平上皮癌の発生源になることもある。
a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 e Wickham線条：扁平苔癬の丘疹の表面に網状に配列した細い白みがかった線条

【18】色素失調症 incontinentia pigmenti (Bloch-Sulzberger症候群) で正しいものを選び。

- (1)男性に多い。 (2)組織学的に好酸球性膿疱がみられる。
(3)細胞膜のレセプターの異常により生じる。 (4)両側性のことが多い。
a.(1),(2) b.(2),(3) c.(3),(4) d.(1),(3) e.(2),(4)

解答 e 卒試2004問21参照 標準305

(1) ×伴性優性遺伝でほとんどが女兒(男児の多くは致死的で出生率が少ない)

(3) ×原因はX染色体上に存在する細胞内情報伝達系のNF- κ B essential modulatorの遺伝子異常

【19】正しいものを選び。

- (1)アミロイドーシス：AL(免疫グロブリン L 鎖)、AA(proteinA)などの線維構造を有する特異蛋白が諸臓器の組織間隙に沈着する。
 (2)エーラスダンロス症候群：皮膚の過伸展、関節の異常可動、皮膚血管の脆弱を主徴とする遺伝性コラーゲン合成異常症。
 (3)痛風結節：尿酸塩結晶に対する異物肉芽腫。
 (4)ポルフィリン症：ポルフィリン体またはその前駆体の代謝異常で急性間欠性ポルフィリン症以外では日光暴露により紅斑、水疱などが生じる。
- a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)～(4)のすべて

解答 e 卒試2004問23参照 2004年5月14日講義分、占部先生プリントの記述そのまま

【20】誤っているものを選び。

- a.全身性アミロイドーシスでは表皮直下のみアミロイド沈着をしめす
 b.甲状腺機能亢進症では全身性粘液水腫を呈する c.眼瞼黄色腫では必ず高リポ蛋白血症を認める
 d.ファブリー病ではびまん性体幹被角血管腫を認める
 e.ヘモクロマトーシスの色素沈着は表皮の鉄の沈着による

解答 b 2005年概説5-□に類似

甲状腺機能亢進症では前頸骨部粘液水腫を認めることがある。重篤な甲状腺機能低下→粘液水腫昏睡 d. 標準289 Fabry病は皮膚科では、びまん性体幹被角血管腫としばしば呼ばれる。

【21】正しいものを選び。

- (1)眼皮皮膚白皮症、1a型：チロシナーゼ陰性型では生涯色素は産成されない。
 (2)Chediak-Higashi 症候群では出血傾向を示す。 (3)肝斑にはトラネキサム酸の内服が有効。
 (4)ミノサイクリンでは薬剤による色素沈着に注意が必要。
 (5)抗悪性腫瘍剤では体幹部に色素沈着を生じやすい。
- a.(1),(2),(3) b.(1),(2),(5) c.(1),(3),(4) d.(2),(3),(4) e.(3),(4),(5)

解答 a 2005年概説6-□に類似

- (1)○標準205 チロシナーゼ陰性型ではメラノサイトは存在するがメラニン形成はない。
 (2)○Chediak-Higashi 症 (CHS) の特徴の一つに「血小板の凝集能が異常であることと、血小板内のADP、セロトニン貯蔵の障害に起因する出血傾向」がある。
 (3)○標準209 肝斑にはトラネキサム酸の内服がかなり有効(今日の診療プレミアム)
 (4)□その他の副作用に「長期服用で、皮膚や粘膜の色素沈着」があげられている。
 (5)×体幹部というよりは指趾関節背面、爪囲、爪甲、口唇、舌などに色素沈着が見られることがある。

【22】高カロリー輸液中の患者が下痢・四肢末梢にびらん・脱毛を生じてきた。測定すべき金属はどれか。

- a.鉄 b.銅 c.亜鉛 d.ニッケル e.セレンウム

解答 c 標準293 高カロリー輸液療法中の微量元素欠乏症としては亜鉛と銅の欠乏症状が多い。亜鉛欠乏では特徴的な皮疹、口内炎、脱毛、爪変化、下痢、腹痛、嘔吐、うつ病などの精神症状が報告されており、銅の欠乏症状としては貧血、白血球減少、好中球減少、骨粗鬆症などが報告されている。

【23】診断上・血清反応が重要ではないと思われる疾患は次のうちどれか。

- a.梅毒 b.成人T細胞リンパ腫/白血病(ALT) c.伝染性紅斑 d.非定型抗酸菌症 e.Gianotti 病

解答 d 卒試2004問24参照

【24】結核菌が原因で生じる疾患をあげよ。

- (1)皮膚症状結核 (2)皮膚腺病 (3)バザン硬結性紅斑 (4)尋常性狼瘡
 a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 e 卒試2004問25参照

【25】次の文章のうち誤っているものの組合せはどれか。

- (1)梅毒血清反応(STS)陽性者は全て梅毒に罹患している。
 (2)第1期梅毒の感染門戸は陰部、口唇に限られる。
 (3)梅毒に罹患しても最初の約3週間はSTSは陰性である。
 (4)硬性下疳は感染後3週で生じ、トレポネーマが証明される。
 (5)第2期梅毒は感染後約3ヶ月で始まり、バラ疹・扁平コンジローマ・脱毛などを生ずる。
 a.(1),(2) b.(2),(3) c.(3),(4) d.(4),(5) e.(3),(5)

解答 a 卒試2004問27参照 標準463

【26】一般に尋常性疣贅に対して用いられない治療法はどれか。

- (1)液体窒素による凍結療法 (2)炭酸ガスレーザーによる焼灼術
 (3)サイクロスポリンAの内服 (4)強酸性水の外用 (5)インターフェロンαの局所注射
 a(1)(2) b(1)(5) c(2)(3) d(3)(4) e(4)(5)

解答 d 標準453 (2)○炭酸ガスレーザーは尋常性疣贅治療に対して用いられる。(3)×サイクロスポリン内服ではなく5-FU軟膏外用。(4)△強酸性水を試みることはある。(5)○インターフェロンαの局所注射、筋注は治療に使われる。

【27】次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a.皮膚糸状菌とは Epidermophyton、Microsporum、Trichophyton の3属の諸菌を総称したものである。
 b.角質増殖型足白癬はしばしば痒みを欠く。
 c.トリコフィチン反応は白癬の診断に最も有用な検査である。
 d.空中に存在する Aspergillus や Fusarium 属などは爪真菌症を起こしうる。

解答 c a.○標準417 b.○標準420 掻痒は軽度のことが多い c.×標準424 補助的な診断根拠となる程度の検査 KOH直接鏡検法が重要

【28】次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a.スポロトリコーシスは小児の顔面、高齢者の上肢に多い。
 b.癩風は乳幼児の軀幹に多い。 c.黒色分芽菌症(chromoblastomycosis)は下肢に多い。
 d.皮膚クリプトコックス症は髄膜や肺のクリプトコックス症に続発することが多い。

解答 b 卒試2004問31参照

【29】真菌感染症と治療の組み合わせのうち、適当でないものはどれか。

- a.爪白癬：アンホテリシンB内服 b.スポロトリコーシス：ヨウ化カリウム内服
 c.口腔カンジダ症：アゾール系抗真菌剤内服 d.股部白癬：アゾール系抗真菌剤外用

解答 a 卒試2004問32参照

【30】疾患と確定診断補助診断の検査の組み合わせのうち、適当でないものはどれか。

- a.疥癬：苛性カリウム検鏡 b.頭部白癬：Wood灯 c.スポロトリコーシス：スポロトリキン反応
 d.皮膚クリプトコックス症：トリコフィチン反応

解答 d 標準73、435 トリコフィチン反応：白癬菌抗原によるツベルクリン型皮内反応で、Celsus 禿瘡、白癬性毛瘡では陽性となることが多い。

【31】15歳の男性。発熱、咽頭痛、全身倦怠感あり、近医受診し、抗生剤と解熱鎮痛剤の処方を受けた。その後顔面に浮腫状の紅斑が出現したため受診。初診時、顔面から頸部、胸部に浮腫状の紅斑がみられた。頸部リンパ節に有痛性の腫脹、口腔内は扁桃がボール状に腫脹、口蓋に点状の紫斑がみられた。白血球9600、リンパ球55%、異型リンパ球10%、ALT286IU/ml。この疾患について誤っている記述はどれか。

- (1)ステロイドの全身投与が有効な場合がある。 (2)アシクロビルが著効する。
 (3)経過中にしばしばリンパ腫に移行する。 (4)ウイルスはその後潜伏感染する。
 (5)異型リンパ球は経過の後半に増加してくる。

a.(1),(2) b.(1),(5) c.(2),(3) b.(3),(4) e.(4),(5)

解答 c 卒試2004問30に類似 標準460 伝染性単核症・・・アンピシリン、アモキシシリン禁忌

白血球増加、リンパ球増加、異型リンパ球出現が3主徴。扁桃腺腫脹による気道閉塞、血小板減少性紫斑病、溶血性貧血、脳炎・髄膜炎、心筋炎、心外膜炎などの合併症がある場合には、ステロイド使用。

【32】C型肝炎患者にみられやすい皮膚症状はどれか。

- (1)クリオグロブリン血症による血管炎 (2)扁平苔癬 (3)皮膚T細胞性リンパ腫
 (4)神経線維腫 (5)水疱性類天疱瘡

a.(1),(2) b.(1),(5) c.(2),(3) b.(3),(4) e.(4),(5)

解答 a 標準285

クリオグロブリン血症：基礎疾患は多岐にわたり、骨髄腫、マクログロブリン血症、悪性リンパ腫、自己免疫性リウマチ性疾患(Sjogren 症候群, SLE など)、B型およびC型慢性肝炎、梅毒、亜急性心内膜炎などが挙げられる。

扁平苔癬：病因は不明なことが多いが、最近では薬剤やウイルスなどが指摘されている。前者では脳循環改善薬、降圧薬など比較的長期間投与された後に生じることが多く、後者ではC型肝炎ウイルスの関与が指摘されている。

【33】次の疾患のうち、自然消退の認められるものを選び

- (1)悪性黒色腫の原発巣 (2)莓状血管腫 (3)単純性血管腫(ポートワイン母斑) (4)扁平母斑

a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 b 卒試2004問36参照

【34】Paget病について正しいものはどれか。

- (1)組織で管腔がみられることはあまりないが、腺癌の一種である。
 (2)乳房および乳房外があり、乳房外Paget病の好発部位は腋窩である。
 (3)臨床的には境界明瞭な角化性隆起性局面として見つかることが多い。
 (4)表皮内癌であるため予後は良く、転移や腫瘍死はほとんどない。

a.(1)のみ b.(1),(3),(4) c.(2),(3) d.(2),(4) e.(2)~(4)のすべて

解答 a 卒試2004問39参照

【35】尋常性白斑の治療について正しいものの組み合わせはどれか

- (1)ステロイド外用 (2)ルビーレーザー照射 (3)表皮移植 (4)PUVA療法

a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 a 卒試2004問40参照

【36】汗腺系腫瘍はどれか。

- a.稗粒腫 b.石灰化上皮腫 c.皮膚混合腫瘍 d.脂漏性角化症 e.ボーエン病

解答 c 卒試2004問44参照

【37】基底細胞癌の発生母地または背景として重要なものはどれか。

- (1)基底細胞母斑症候群 (2)尋常性乾癬 (3)長年の日光曝露 (4)色素性乾皮症
a.(1)のみ b.(1),(3),(4) c.(2),(3) d.(2),(4) e.(1)~(4)のすべて

解答 b 標準342 (3) 顔面に好発するので日光紫外線の関与が推測されている。

(4) 色素性乾皮症 G 群で基底細胞癌が発症した症例が報告されている。基底細胞癌は色素性乾皮症、基底細胞母斑症候群に合併しやすい。

【38】次の皮膚悪性腫瘍のうち生命予後が比較的良好なものはどれか。

- (1)表在拡大型悪性黒色腫 (2)陰部 Paget 病 (3)Bowen 病 (4)基底細胞癌 (5)有棘細胞癌
a.(1),(2) b.(2),(3) c.(2),(4) d.(3),(4) e.(1),(5)

解答 d 乳房外 Paget 病は, in situ のまま長期間の表皮内拡大の時期がある。この時期に治療すれば完治する。しかし真皮, 皮下脂肪織に浸潤する invasive の時期のものは, 所属リンパ節, 遠隔臓器転移を来し原病死する。外陰部 Paget 病の予後は, パンツ型紅斑出現後の予後は1年以内。基底細胞癌は局所破壊性が強いが, 転移能のきわめて低い悪性腫瘍。

【39】関係の深い組み合わせはどれか。

- (1)類表皮嚢腫(粉瘤) : Gardner 症候群 (2)脂腺腫瘍 : Muir-Torre 症候群
(3)脂漏性角化症 : Leser-Trelat 症候群 (4)石灰化上皮腫 : 進行性筋ジストロフィー
a.(1)のみ b.(1),(3),(4) c.(2),(3) d.(2),(4) e.(1)~(4)のすべて

解答 e (1) Gardner 症候群は多発性の表皮嚢腫, 脂腺嚢腫, 線維腫などの軟部組織腫瘍と大腸ポリポーシス, 骨腫を3徴候とする常染色体優性遺伝性疾患

(2) 標準345 Muir-Torre 症候群は良性、悪性の脂腺系腫瘍を多発するとともに、しばしば内臓癌を伴い、特に大腸の腺癌やポリープを多発する

(3) 標準312 Leser-Trelat 徴候 : まれに内臓癌の皮膚表現として、脂漏性角化症が急激に多発する

(4) 多発例では筋ジストロフィーと関係があることがある (2004年5月7日皮膚科講義プリントより)

【40】悪性黒色腫(メラノーマ)について正しいのはどれか。

- (1)肉眼的に黒くないものもある。 (2)有効な化学療法はない。 (3)多くは色素性母斑から生じる。
(4)白人より黄色人種に多く見られる。
a.(1)のみ b.(1),(3),(4) c.(2),(3) d.(2),(4) e.(1)~(4)のすべて

解答 a (3) 標準350 悪性黒色腫の大部分は色素細胞母斑とは無関係に、表皮メラノサイトの癌化により発生してくる考え方が主張されてきている (4) 標準 347 白人>黄色人>黒人

【41】菌状息肉症について正しい組み合わせを選べ。

- 1.紅斑期:紅斑から始まり、出没を繰り返す。 2.浸潤・増殖する細胞は CD4 陽性 T 細胞
3.直接死因は免疫能低下による感染症が多い 4.表皮内への腫瘍リンパ球浸潤(表皮向性)を示す
a.(1),(3),(4)のみ b(1),(2)のみ c(2),(3)のみ d(4)のみ e(1)~(4)のすべて

解答 e 2005年概説5-□に類似 標準356 腫瘍細胞は小型ないし中型のCD4 陽性Tリンパ球で、表皮と真皮に浸潤。表皮への浸潤(表皮向性; epidermotropism)に伴い, Pautrier(ポートルエ)微小膿瘍を認める。紅斑期では、体幹、四肢に軽度の鱗屑を伴う淡紅～褐色斑を認め、消長を繰り返す。

扁平浸潤期では、境界明瞭な鱗屑を有し、扁平に隆起した紅色局面を認める。表皮向性が著明。

腫瘍期には、褐色～紫紅色の表面平滑な結節が既存の紅斑もしくは扁平浸潤の皮疹上に生じる。びらん、潰瘍を形成し、二次感染を伴いやすくなる。腫瘍細胞はやがて全身のあらゆる臓器へと浸潤し、感染症を合併しやすくなる。

【42】内臓悪性腫瘍を伴うことの多い皮膚疾患はどれか

- 1.Sweet 病 2.Bazex 症候群 3.皮膚筋炎 4.葡行性迂回性紅斑
a(1),(3),(4)のみ b(1),(2)のみ c(2),(3)のみ d(4)のみ e(1)~(4)のすべて

解答 e 卒試2004問5に類似 概説2005問5-3に類似

Bazex症候群：後天性掌蹠角化症で悪性腫瘍を伴う疾患。悪性腫瘍は上部消化管、上気道にみられるのが特徴的。角化性病変は顕著で掌蹠にとどまらず、鼻や耳介にまで及ぶことがある。

皮膚筋炎：悪性腫瘍合併率は、10～30%と報告されているが、中年以上の患者ではより高率に合併する。悪性腫瘍の種類としては、胃癌、乳癌、肺癌、大腸癌がわが国では多い。

葡行性迂回状紅斑：浮腫性の紅斑が遠心性に拡大し、隣の紅斑あるいは拡大した内側に新たな紅斑が生じ、入り交じって木目状となる。悪性腫瘍との合併がきわめて高いとされるが、典型的な本症をみることは稀。

【43】正しいものを選べ

- a.足底の色素性母斑：皮丘優位の色素沈着 b.メラノーマ：巨大先天性色素性母斑
c.若年性黒色腫：予後不良 d.ダーモスコピィ：レーザー光線による診断

解答 b a×標準320 扁平であることが多い

b標準320、350 巨大型先天性色素細胞母斑の病変内には稀にだが悪性黒色腫が生じうる

c×標準321 若年性黒色腫：名称から悪性黒色腫を連想させるが、本態は母斑細胞母斑の一種で良性

d×外来ポリクリでみたはず。レーザーは使わない。ゼリーを塗ってレンズを通してそのまま肉眼で。

【44】正しいものを選べ

- 1.神経線維腫症1型では高率に脳腫瘍を合併する。
2.結節性硬化症では知能低下、てんかん発作、顔面の血管線維腫を生じる。
3.ポイツ・イェーガス症候群では口唇・手指・足趾の色素沈着と腸管ポリポージスを生じる。
4.スタージ・ウェーバー病では三叉神経第3枝領域に単純性血管腫を生じる。
5.神経皮膚黒色症では脳軟膜、中枢神経、皮膚に母斑細胞が増殖。
a.(1),(2),(3) b.(2),(3),(4) c.(2),(3),(5) d.(2),(4),(5) e.(3),(4),(5)

解答 c 2005年概説6-□に類似 先輩の解答ではaとなっていました。

1 標準302 神経線維腫症2型(中枢型)はほとんど皮膚症状がなく、おもに両側性(ときに片側性)の聴神経鞘腫を生じ、聴力障害を呈する。しばしば髄膜腫や神経膠腫などの頭蓋内または傍脊柱腫瘍を伴う。1型(末梢型)は2型よりはるかに頻度が多く、皮膚の色素沈着斑と皮下腫瘍を臨床的特徴とする。色素沈着斑は生下時から存在し、体のいたるところにでき、大きさや色合いは様々である。神経線維腫とよばれる神経鞘の腫瘍が、皮下および皮下組織の末梢神経の走行に沿って、神経根から遠位部に至るあらゆる部位に多発性に生じる(ステッドマン)。

4標準307 三叉神経第3枝領域ではなくて、第1、2枝領域の半側性単純性血管腫 5標準304

【45】熱傷の治療について正しい記載の組合せはどれか。

- (1)熱傷受傷直後は水で冷却する。 (2)水疱があれば感染予防のため出来るだけ除去した方がよい。
 (3)熱傷面の MRSA 感染に対して最も有効なのはシルバーサルファダイアジンクリームである。
 (4)受傷直後の輸液は乳酸加リンゲル液を用いる。 (5)輸液の指標は1時間尿量をまず参考とする。

a.(1),(2),(3) b.(2),(3),(4) c.(2),(3),(5) d.(3),(4),(5) e.(1),(4),(5)

解答 e 2 水疱が形成されている場合は、感染防止のため内容を注射器で吸引し、水疱被膜を密着させる。すでに水疱が破れている場合には、原則としてこれを除去する。

3 スルファジアジン銀：緑膿菌、ブドウ球菌属などに対し優れた抗菌効果を発揮するとともに、耐性菌が生じにくく、抗生物質耐性菌にも感受性を示す。

【46】Z形成術について正しいのはどれか。

- (1)頂角の等しい時は60度で60%の延長率となる。 (2)瘢痕の方向を変える効果がある。
 (3)連続に用いた場合、同じ延長効果を持つ単一のものよりも中央縫合線上の緊張を分散させることができる。
 (4)頂角を60度とすると皮弁置換後の中央縫合線は元の中央縫合線とは60度の方向となる。

a.(1)(3)(4) b.(1)(2) c.(2)(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 c (1) 75%の延長率となる (4) およそ90度の方向となる 2004年4月26日講義プリント

【47】次の文章の中で壊死性筋膜炎について正しいものはどれか。

- (1)病変の主座は浅筋膜から皮下組織にかけてである。
 (2)早期より切開、デブリードマンなどの外科的処置が必要である。
 (3)四肢に好発し、有痛性のことが多い。 (4)早期からの強力な抗生剤の投与が必要である。

a.(1)(3)(4) b.(1)(2) c.(2)(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 e 標準387

【48】血管炎の診断に有用な病理組織学的所見について正しい組合せはどれか。

- 1)静脈内の血栓 2)血管壁への多核白血球の浸潤 3)フィブリノイド物質の沈着 4)赤血球の漏出
 5)類結核肉芽腫

a.(1),(2),(3) b.(1),(2),(5) c.(1),(3),(5) d.(2),(3),(4) e.(3),(4),(5)

解答 d

【49】痛風について正しいのはどれか。

- (1)耳介及び関節部の結節 (2)日光過敏 (3)肢端の壊疽 (4)高尿酸血症
 (5)疼痛発作時の非ステロイド系抗炎症剤の使用

a.(1),(2),(3) b.(1),(2),(5) c.(1),(4),(5) d.(2),(3),(4) e.(3),(4),(5)

解答 c 標準290

【50】サルコイドーシスについて正しいものを選び。

- 1.乾酪壊死を伴わない類上皮細胞性肉芽腫がみられる。
 2.星状体 asteroid body などの細胞内封入体が類上皮細胞、巨細胞にみられる。
 3.肺門リンパ節腫脹(BHL)がみられる。 4.眼病変を伴うことがある。

a)1.3.4のみ b)1.2のみ c)2.3のみ d)4のみ e)1-4のすべて

解答 e 標準231

2004年度卒業試験（復元）

問題 1 以下の記載のうち正しい組合せはどれか。

- (1) 外来の抗原を認識して（実際の免疫反応をつかさどる）リンパ球へと抗原情報を伝える細胞を抗原提示細胞と呼ぶ。表皮ではメルケル細胞がその役割を果たす。
 (2) 表皮の最下層（基底層）には色素を産生するメラニン産生細胞が存在するが、この細胞は発生学的には神経と同じく内胚葉由来である。
 (3) 表皮と真皮結合組織との接合部分には乳頭状の凹凸があるが、マイスネル小体はここに分布する。手掌足底に多く、触覚に関与する神経終末と考えられている。
 (4) パチニ小体は皮下脂肪組織に分布し、（消化管における機能と同様に）圧受容体と考えられている。
 a. (1), (2) b. (1), (3) c. (2), (3) d. (2), (4) e. (3), (4)

<解答> e 毎年のようによく出てくる問題 (1) × Langerhans 細胞。Merkel 細胞は、基底細胞層に存在する感覚受容体。 (2) × メラニン産生細胞は神経堤由来（外胚葉）。

問題 2 脱毛を起こすことがある疾患はどれか。

- (1) 白癬 (2) 梅毒 (3) エリテマトーデス (4) ハンセン病
 a. (1), (3), (4)のみ b. (1), (2)のみ c. (2), (3)のみ d. (4)のみ e. (1)~(4)のすべて

<解答> e (1) ○ 頭部白癬・ケルスズ禿瘡でよく起こる。 (2) ○ 第2期に起こる。梅毒性白斑。
 (3) ○ 脱毛の他に蝶形紅斑や手足・粘膜の滲出性紅斑。 (4) ○ らい菌が原因。らい腫型で発現。

問題 3 Langerhans 細胞について誤っているものを一つ選べ。

- a. 骨髄由来の細胞である。 b. Birbeck 顆粒を有する。 c. インターフェロン γ を産生する。
 d. 正常皮膚では真皮浅層の小血管周囲に多く認められる。
 e. 毛包や脂腺、リンパ節や胸腺にも認められる。

<解答> d よく出る問題。 (4) × 表皮内の主に有棘細胞層中上層にまばらに存在している。

問題 4 皮疹が列序性に配列することがある疾患はどれか。

- a. 表皮母斑 b. 太田母斑 c. 老人性血管腫 d. 脂漏性角化症 e. ボーエン病

<解答> a 既出問題 b : × 三叉神経第1・2枝支配領域に片側性の淡青色をみる。
 c : × 平滑な半球状の鮮紅色の小丘疹が体幹で散在性に見られる。
 d : × 扁平隆起性の褐色ないし黒色調局面で、表面軽度疣状のものが多い。
 e : × 境界明瞭な紅褐色斑～黒色斑。

問題 5 次に挙げる紅斑のうち、内臓悪性腫瘍との関連が考えられているのはどれか。

- (1) 遠心性環状紅斑 (2) Sweet 病 (3) 壊死性遊走性紅斑 (4) 葡行性迂回（花環）状紅斑
 a. (1), (3), (4)のみ b. (1), (2)のみ c. (2), (3)のみ d. (4)のみ e. (1)~(4)のすべて

<解答> e (1) ○ 遠心性環状紅斑は内臓悪性腫瘍などの原疾患の検索が重要。
 (2) ○ 上気道感染が先行することが多く、癌・白血病等の悪性腫瘍や慢性関節リウマチ・Sjogren 症候群などの自己免疫疾患に合併した例の報告が近年増えてきている。 (3) ○ グルカゴノーマの約70%に合併する。
 (4) ○ 「ほこうせい」と読みます。内臓悪性腫瘍をほとんど100%に合併し、極めてまれ。

問題 6 紅皮症を来すのはどれか。

- (1) 薬疹 (2) ATL/ATLL (3) 湿疹 (4) 乾癬
 a. (1), (3), (4)のみ b. (1), (2)のみ c. (2), (3)のみ d. (4)のみ e. (1)~(4)のすべて

<解答> e 既出問題 「紅皮症の原因および先行皮膚疾患」

1. 先行皮膚疾患・・・特に湿疹・皮膚炎群や乾癬からの発症が多い。
2. 悪性腫瘍・・・Sezary 症候群・菌状息肉腫・Hodgkin 病・白血病・内臓悪性腫瘍。
3. 薬剤・・・金剤・コルチコステロイドなど

問題 7 アトピー性皮膚炎について誤っているのはどれか。

- a. 青年期以降に発症することもある。 b. ヘルペス感染症が合併しやすい。
c. 血清 IgE の上昇することもある。 d. 白内障の合併に注意する必要がある。
e. 確定診断には皮膚生検が必要である。

<解答> e 選択枝の中身は年々変わるが、よく出る問題。

- a : o 生後 2～6 ヶ月より発生し、大半は思春期前に治癒するが、一部は思春期以降も持続し、難治性。
b : o カポジ水痘様発疹症（ヘルペス初感染）、伝染性膿痂疹、伝染性軟属腫は、合併する感染症として、重要で頻度も高い。 c : o 他のアトピー性疾患（気管支喘息・アレルギー性鼻炎）を併発しやすい。
d : o 眼合併症として、白内障・網膜剥離があげられ、10代から20代の患者に起こりやすい。
e : x 診断に検査は必ずしも必要ではなく、1 掻痒、2 特徴的皮疹と分布、3 慢性・反復性の経過、が診断基準として授業プリントにありました。

問題 8 23 歳の男性。幼少児期よりアトピー性皮膚炎で治療を受けていた。2 日前より突然、39℃の発熱とともに顔面、頸部、上胸部に小水痘が多数集震性に出現し、一部びらん化、潰瘍化し、所属リンパ節も有痛性に膨張している。最も考えられるのはどれか。

- a. 疱疹状皮膚炎 b. 天疱瘡 c. カポジ水痘様発疹症 d. 帯状疱疹 e. 水疱性類天疱瘡

<解答> c 1 : アトピー性皮膚炎 2 : 「39℃の熱」→感染を疑う。この2つを考えると答えは c。「カポジ水痘様発疹症」 標準 4 4 9

基礎疾患（アレルギー性皮膚炎が多い）のある皮膚部分に、HSV（単純ヘルペス）が経皮感染することによる。小児に好発するが、成人例も増加している。湿疹病変に、多数の小水泡→膿疱→びらん→潰瘍化となる。皮疹発症と同時に、発熱・所属リンパ節の有痛性腫脹・倦怠感といった全身症状を伴う。

問題 9 結節性紅斑でみられる病理組織学的所見を下記より選べ。

- a) satellite cell necrosis b) septal panniculitis c) leukocytoclastic vasculitis
d) spongiosis e) Munro's micro abscess

<解答> b 毎年、違う病気で問われるが選択枝は一緒。

- a) x 急性皮膚GVHDに出現し donor のリンパ球が recipient のケラチノサイトを攻撃する像。
b) o 結節性紅斑に出現。葉間脂肪織炎の像。
c) x 皮膚アレルギー性血管炎。好中球を主とした細胞浸潤、核崩壊片、赤血球の血管外漏出を特徴。
d) x 急性湿疹に出現。海綿状態のことで隣接するケラチノサイト同士の間隙が浮腫により拡大した状態。
e) x 尋常性乾癬に出現。Munro 微小膿瘍のことで角層内の好中球浸潤の像。

問題 10 蕁麻疹の原因として正しいものはどれか。

- (1) ヘリコバクター・ピロリ菌 (2) 自己抗体（抗 IgE レセプター抗体）
(3) 消炎鎮痛剤 (4) 慢性感染症

- a. (1),(3),(4)のみ b. (1),(2)のみ c. (2),(3)のみ d. (4)のみ e. (1)～(4)のすべて

<解答> e 蕁麻疹は何でも原因になりうるみたいです。(1) o 「Today's therapy」という本にのっていた。

(2) o 抗原の存在と無関係に好塩基球およびマスト細胞の脱顆粒を誘導。(慢性蕁麻疹)

(3) o アスピリンなどは、直接あるいは間接的にマスト細胞に作用したり、血管に対する直接作用によっても症状を修飾したりする。(非アレルギー性蕁麻疹)

問題 11 次の組み合わせで正しくないものを 1 つ選べ。

- a. Sweet 病---白血病 b. 骨髄性プロトポルフィリン症--- C 型肝炎
c. 壊疽性膿皮症---大動脈炎症候群 d. 結節性紅斑---潰瘍性大腸炎
e. 黒色表皮腫---肥満

- <解答> b こういう組み合わせ問題は毎年見ますが、毎回中身は違うようです。
- a. ○ 上気道感染が先行することが多く、癌・白血病等の悪性腫瘍や慢性関節リウマチ・Sjogren 症候群などの自己免疫疾患に合併した例の報告が近年増えてきている。
- b. × 骨髄性プロトポルフィリン症は遺伝子レベルの障害によると考えられている。
PCT（晩発性皮膚ポルフィリン症）の患者の 50%以上にHCV感染を認める。
- c. ○ 原因は不明だが、本邦では大動脈炎症候群を合併することが多い。
- d. ○ 潰瘍性大腸炎は壊疽性膿皮症を合併することがあり、結節性紅斑・多形紅斑・環状紅斑などを呈する。
- e. ○ 黒色表皮腫は 3つのタイプがあり、なかでも仮性型は肥満者に認められる。

問題 12 17 歳の女性。昼ご飯にうどんを食べた直後にクラブ活動で運動をしたところ、気分不良、顔面の浮腫がみられ、意識消失し救急車で受診した。当日は月経時痛みに対してバファリンを内服していた。最も考えられる診断名はどれか。

- a. 固定薬疹 b. Stevens-Johnson 症候群 c. Drug induced hypersensitivity syndrome
d. Food dependent exercise induced anaphylaxis e. アスピリン不耐症

- <解答> d
- 「食物依存性運動誘発アナフィラキシー Food dependent exercise induced anaphylaxis」
特定の食べ物（小麦・海老・カニが多い）を摂取した後、運動を負荷したときに、蕁麻疹や血圧低下を伴うアナフィラキシー症状が出現する。（食物のみ・運動負荷のみでは症状は出ない）
なので、dの可能性が一番高いと思われます。
- 本症例の場合、バファリン（アスピリン）を内服しているので、薬剤性アナフィラキシーショックも原因の 1つとして考えられます。この場合も蕁麻疹が見られます。dに比べたら、可能性は低いかと・本文には「浮腫」とありますが、蕁麻疹は膨疹なので浮腫と似たものと考えます。（かゆみの表記はないが）

問題 13 症例は 72 歳の男性。肺炎で入院治療を受けていたが、1 週間前から全身の皮膚に紅斑、びらんが出現してきた。眼球結膜の充血がみられ、口唇にはびらん、口腔粘膜には白苔を伴っていた。皮膚生検で 表皮真皮境界部へのリンパ球の浸潤と表皮基底層の細胞の壊死がみられた。この疾患で臨床的にみられる所見はどれか。

- a. Dermographia b. Nikolsky 現象 c. Auspitz 現象
d. Darier 徴候 e. Pautrier micro abscess

- <解答> b TEN 型薬疹（中毒性表皮壊死剥離症）
- a. Dermographia（皮膚描記症）・皮膚の機械的擦過により膨疹と紅斑を生じる。（蕁麻疹）
- b. Nikolsky 現象・健全皮膚面を指で押しながらこすると、表皮剥離が起こる。（水疱症）
- c. Auspitz 現象・鱗屑を剥がしていくと点状出血。（乾癬）
- d. Darier 徴候・色素斑部での隆起が強くみられる。（肥満細胞症）
- e. Pautrier micro abscess・mycosis cell（息肉症細胞）が表皮内に侵入し、数個集まったもの。

TEN 型薬疹（中毒性表皮壊死剥離症）

全身倦怠感・発熱・関節痛などの前駆症状に続き、紅斑を生じ、それが急速に全身に拡大するとともに熱傷に似たびらんを呈する最も重症の薬疹。原因としてアスピリン・ピラゾロン系・サルファ剤・ペニシリン・バルビツール剤などが多い。 □本症例では肺炎の治療に用いた抗生物質が原因して発症したと考えられる。表皮細胞全体が著明な壊死に陥るため、皮膚は触るだけで容易に剥離する（ニコルスキー現象）。

問題 14 22 歳の女性。急性骨髄性白血病に対して寛解導入療法後、非血縁者間の骨髄移植を受けた。移植後 35 日目から発熱、下痢とともに手掌、頸部に紅斑が出現、次第に拡大するため受診した。皮膚生検では表皮基底層の細胞に空胞変性、壊死がみられた。この病態について誤った組み合わせはどれか。

- (1) 生じるとほとんどの場合致命的である。 (2) 肝酵素の上昇を伴うことも多い。
 (3) ステロイドの全身は効果があることが多い。 (4) 輸血や肝移植など他の臓器移植時にもみられることがある。 (5) 自家移植でもしばしばみられる。

a.(1),(2) b.(1),(5) c.(2),(3) d.(3),(4) e.(4),(5)

〈解答〉 b (1) (5) × 移植後 100 日以内に起こった急性 GVHD であり発疹、下痢、肝障害が 3 徴。 (2) (3) (4) ○ 治療はステロイド、シクロスポリン、免疫抑制剤の全身投与。

問題 15 痒疹、蕁麻疹について正しいものを選び。

- (1) 妊娠に伴うものがあり、妊娠性痒疹とよばれる。
 (2) 痒疹では一般に激しいかゆみを伴い、発疹は紅斑である。
 (3) 蕁麻疹でみられる発疹は膨疹であり、一般に個疹は数時間で消失する。
 (4) 蕁麻疹の治療には抗ヒスタミン剤を中心とした薬物療法が行なわれる。

a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

〈解答〉 a (2) × 痒疹は丘疹であるのが特徴。

問題 16 Stevens-Johnson 症候群について誤っているものを選び。

- (1) 多形滲出性紅斑の重症型と考えられている。 (2) 皮疹に加え、粘膜疹、発熱などの全身症状を伴う。
 (3) 全身症状が強く、予後不良のことがある。 (4) ステロイド剤の内服、注射は禁忌である。

a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

〈解答〉 d (4) × 治療はステロイドの全身投与と補液などの全身管理 (1) (2) (3) ○ 大切な問題

問題 17 乾癬の治療で効果的なのはどれか。

- (1) コルチコステロイド外用 (2) メソトレキサート内服 (3) 活性型ビタミン D3 内服
 (4) シクロスポリン A 外用

a.(1),(2) b.(1),(3) c.(2),(3) d.(2),(4) e.(3),(4)

〈解答〉 a (3) (4) はそれぞれ外用と内服に変えれば正解。

問題 18 類乾癬で正しいものはどれか。

- (1) 局面性類乾癬は菌状息肉症へ移行することがある。
 (2) Pityriasis Lichenoides et Variciformis Acuta (PLEVA : 急性痘瘡状苔癬状枇糠疹)は Lymphomatoid Papulosis (LP, リンパ腫様丘疹症)の類縁疾患と考えられている。
 (3) Pityriasis Lichenoides Chronica (PLC, 慢性苔癬状枇糠疹)はときに DDS が奏効する。
 (4) 類乾癬には PUVA 療法は一般に有効でない。

a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

〈解答〉 b? (1) ○ 類乾癬は滴状、局面状、苔癬状があり、後者 2 つは菌状息肉症への移行に注意。

(2) 標準 141 滴状類乾癬の重症型とする意見もあるが LP の類縁疾患であるかは不明。

(3) 標準 195 慢性苔癬状枇糠疹とは、滴状類乾癬のこと。DDS とは diaminodiphenylsulfone ジアミノジフェニルスルホンまたはジアフェニルスルホンのこと。滴状類乾癬には PUVA 療法が一般的。急性痘瘡状苔癬状枇糠疹では d d s を内服する。 (4) × 治療はステロイドの外用、PUVA

問題 19 疾患と病理組織像の組み合わせで正しいものを選び。

- (1) 尋常性乾癬・・・液状変性 (2) Thost-Unna 型掌蹠角化症・・・顆粒変性
 (3) 肩平苔癬・・・コロイド小体 (4) 道化師様魚鱗癬・・・層板顆粒の異常または欠如
 (5) 非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症・・・顆粒変性
 a.(1),(2) b.(1),(5) c.(2),(3) d.(3),(4) e.(4),(5)

〈解答〉 d (1)は不全角化が特徴 (2)顆粒変性(ー) (3)コロイド小体とは Civatte body のこと。

(4)角質細胞内の脂肪滴、角層肥厚なども特徴

問題 20 乾癬について正しいものを選び。

- (1) Kobner 現象は乾癬に特異的な現象である。
 (2) 膿疱性乾癬の病理組織所見ではポトリエ微小膿瘍が認められる。
 (3) 乾癬では高年発症の方が若年発症より遺伝要因の関与が大きいと言われている。
 (4) 乾癬は人種別では白人 > 東洋人 > 黒人の順に多い。
 a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

〈解答〉 d (1)× Kobner 現象は健常部皮膚を刺激すると同じ皮膚症状を生じること。乾癬、扁平苔癬、青年性扁平疣贅などに見られる。(2)× ポトリエはATLに特徴的 (3)× 若年性の方が関与大きい(80%ほど)

問題 21 色素失調症 incontinentia pigmenti (Bloch-Sulzberger 症候群)で正しいものを選び。

- (1) 男性に多い。(2) 組織学的に好酸球性膿瘍がみられる。
 (3) 細胞膜のレセプターの異常により生じる。(4) 両側性のことが多い。
 a.(1),(2) b.(2),(3) c.(3),(4) d.(1),(3) e.(2),(4)

〈解答〉 e (1)× 男児は致命的であるため、女児がほとんどになる。

問題 22 アジソン病について正しいものを選び。

- (1) 副腎皮質機能不全により生じる。(2) 現在では、結核性が多い。
 (3) 全身の色素沈着、倦怠感、食欲不振などの症状を呈する。
 (4) 掌紋、膝、肘などの他、乳輪、版筒、会陰部に色素沈着は強い。
 a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

〈解答〉 a (2)× 副腎結核によるものは激減しており、現在は特発性のものが最多。

問題 23 正しいものを選び。

- (1) アミロイドーシス :AL (免疫グロブリンL鎖)、AA(proteinA)などの線維構造を有する特異蛋白が諸臓器の組織間隙に沈着する。
 (2) エーラスダンロス症候群：皮膚の過伸展、関節の異常可動、皮膚血管の脆弱を主徴とする遺伝性コラーゲン合成異常症。(3) 痛風結節：尿酸塩結晶に対する異物肉芽腫。
 (4) ポルフィリン症：ポルフィリン体またはその前駆体の代謝異常で急性間欠性ポルフィリン症以外では日光暴露により紅斑、水痘などが生じる。
 a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

〈解答〉 e 割と基本的。

問題 24 診断上、血清反応が重要ではないと思われる疾患は次のうちどれか。

- a. 梅毒 b. 成人 T 細胞リンパ腫 / 白血病 (ATL)
 c. 伝染性紅斑 d. 非定型抗酸菌症 e. Gianotti 病

〈解答〉 d 2003年卒試問題1と同じ。

非定型抗酸菌症はいずれかの抗酸菌同定法（DNAプローブ、DNA-ハイブリダイゼーション）により診断。他はa.梅毒スピロヘータ、b.HTLV-1、c.ヒトパルボウイルスB19、e.HBVであり、いずれも診断には血清反応が重要となる。

問題 25 結核菌が原因で生じる疾患をあげよ。

(1) 皮膚流状結核 (2) パザン硬結性紅斑 (3) 皮膚腺病 (4) 尋常性狼瘡

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

〈解答〉 e (2)はBazin硬結性紅斑のこと？ 治療はいずれも抗結核薬の内服

問題 26 疥癬について正しいのはどれか。

(1) 性行為感染症（STD）には含まれない。 (2) クロタミトン外用剤が有効である。

(3) 病理組織所見でリンフォーマと鑑別を要することがある。

(4) 幼小児には感染しない。 (5) ノルウェー疥癬は原因となるダニの種類が異なる。

a.(1),(2) b.(1),(5) c.(2),(3) d.(3),(4) e.(4),(5)

〈解答〉 c (1) (4) (5) ×疥癬は家族内感染、院内感染、保育園、老人ホームで流行する他STDとしても流行。 (3) ? 治療は硫黄、安息香酸ベンジル、クロタミトン。ノルウェー疥癬とは同じダニだが数が少ないのが特徴。

問題 27 次の文章のうち誤っているものの組合せはどれか。

(1)梅毒血清反応（STS）陽性者は全て梅毒に罹患している。

(2)第1期梅毒の感染門戸は陰部、口唇に限られる。

(3)梅毒に罹患しても最初の約3週間は、STSは陰性である。

(4)硬性下疳は感染後3週で生じ、トレポネーマが証明される。

(5)第2期梅毒は感染後約3ヶ月で始まり、バラ疹・肩平コンジローマ・脱毛などを生ずる。

a.(1),(2) b.(2),(3) c.(3),(4) d.(4),(5) e.(3),(5)

解答：a 2002年卒試18番と同じ問題

(1) × SLE、らい病、肝炎、肝硬変、妊娠、感染症、悪性腫瘍などで陽性となる生物学的疑陽性がある。

(2) × 経胎盤もある。 (3) ○ 感染後約4週で陽性化する。

問題 28 次のうち原因微生物が病変部より比較的容易に検出できるのはどれか。

(1) 癬風 (2) 白癬疹 (3) 伝染性紅斑 (4) パザン硬結性紅斑 (5) 扁平コンジローマ

a.(1),(2) b.(1),(5) c.(2),(3) d.(3),(4) e.(4),(5)

解答：b (1) ○ Malassezia furfur をパーカーインクとKOHを滴下して直接鏡検。

(2) × 白癬菌に対するアレルギーであり、皮疹部からは白癬菌の証明はできない。

(3) × パルボウイルスB19の血清IgM抗体を検出する必要がある。

(4) × 結核菌に対するアレルギーであり、皮疹部からは結核菌の証明はできない。

(5) ○ パーカーインク法、墨汁法、暗視野法などで直接鏡検。

問題 29 感染症ではないものはどれか。

(1) Creeping disease (皮膚艇行症) (2) Duhring 疱疹状皮膚炎

(3) 菌状息肉症 (4) 白板症 (5) 黒癬

a.(1),(2),(3) b.(1),(2),(5) c.(1),(4),(5) d.(2),(3),(4) e.(3),(4),(5)

解答：d 2001年卒試29番と同じ問題

- (1) × 皮膚幼虫移行症の一病型。虫の皮内移動に一致し蛇行性線状皮疹を生ずる。
- (2) ○ 掻痒の極めて強い紅斑、小水疱。IgA免疫複合体の沈着？
- (3) ○ 皮膚症状を初発または主病変とする末梢T細胞リンパ腫。
- (4) ○ 慢性刺激が関与しているとされる。過角化症から異形成を示すものまで多様。
- (5) × 黒色酵母様真菌の浅在性真菌症。

問題 30 伝染性単核球症患者への投与を避けたほうがよい抗生剤はどれか。

- a.セフェム系 b.ペニシリン系 c.テトラサイクリン系 d.マクロライド系 e.特にない

解答：b 2001年卒試31番と同じ問題 ペニシリン系はアレルギー反応を引き起こす。

問題 31 次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a. スポロトリコーシスは小児の顔面、高齢者の上肢に多い。
- b. 癩風は乳幼児の躯幹に多い。 c. 黒色分芽菌症 (chromoblastomycosis) は下肢に多い。
- d. 皮膚クリプトコックス症は髄膜や肺のクリプトコックス症に続発することが多い。

解答：b (2) × 癩風は青年期に多い (3) ○ 黒色分芽菌症は青壮年男女の上肢、下肢、臀部、体幹、顔面に多い

問題 32 真菌感染症と治療の組み合わせのうち、適当でないものはどれか。

- a. 爪白癬 --アンホテリシン B 内服 b. スポロトリコーシス --ヨウ化カリウム内服
- c. 口腔カンジダ症 --アゾール系抗真菌剤内服 d. 股部白癬 --アゾール系抗真菌剤外用

解答：a (1) × 爪白癬にはグリセオフルビン、イトラコナゾール、テルビナフィンなど

問題 33 次の記述につき、誤っているものはどれか。

- (1) 慢性皮膚粘膜カンジダ症は爪や皮膚、口腔粘膜にカンジダ症の再発を繰り返す。
- (2) カンジダ症の診断にも白癬と同様に苛性カリウム直接検鏡は有用である。
- (3) 乳児寄生菌性紅斑は伝染しやすいため保育園などへの登園は避ける。
- (4) カンジダ性指間癩は水仕事をする人の III~V 指間に多い。

解答：(3) 皮膚科専門医テキスト参照

- (1) ○ 免疫機構の異常により皮膚、粘膜に再発性、難治性のカンジダ感染を繰り返す

問題 34 症例は 63 歳の男性。C 型肝硬変、肝癌で治療を受けている。近くの海で釣った魚を刺身で食べた翌日から、突然の悪寒、戦慄、発熱があった。来院時、意識レベル低下、収縮期圧は 60mmHg と低下、両下肢に痔痛を伴う大きな紫斑が見られた。血液の塗抹染色でグラム陰性桿菌が陽性。同じ魚を食べた友人たちには症状なし。この疾患について正しいものはどれか

- (1) ビブリオパルニフィカス (*Vibrio vulnificus*) 感染症である。
 - (2) 早期のデブリードマンが必要である。
 - (3) ほとんどの場合肝炎・肝硬変のある患者に起きる。 (4) 夏期に多い疾患である
- a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4) のみ e.(1)~(4) のすべて

解答：e *Vibrio vulnificus* はグラム陰性桿菌であり汽水域、海水に広く分布し、肝硬変、糖尿病など基礎疾患に伴い、健常者にはまれである。生食後 2 日以内に起こり、敗血症を起こし、壊死性筋膜炎を起こす。(皮膚科専門医テキスト参照)

問題 35 症例は 65 歳の男性。鹿児島市出身。10 年ほど前から全身に鱗屑、そう痒を伴う皮疹が出現するようになった。近医で外用治療を受けていたが、改善しにくくなり、次第に紅皮症となったために受診。診察時、全身に鱗屑を伴う紅皮症がみられ、腋下、鼠径にやわらかいリンパ節を複数触知した。血液検査で異型リンパ球 5%、LDH 390mg/ml, ATLA 抗体陽性。この症状の診断のために有用でない検査はどれか。

- a. 皮膚生検 b. 可溶性 IL-2 レセプター定量 c. 皮膚組織における ATL プロウイルスの取り込み
d. 皮膚組織における T 細胞受容体の単一な遺伝子再構成
e. 皮膚組織における免疫グロブリン H 鎖の単一な遺伝子再構成

解答：b 診断は ATL (1) ○ CTCL(cutaneous T-cell lymphoma; 皮膚 T 細胞リンパ腫)の鑑別に有効 (3) ○ ATL プロウイルスの取り込みがあれば ATL と診断し、なければ CTCL と診断する (4) ○ CTCL の検査 (5) ○ CBCL(cutaneous B-cell lymphoma; 皮膚 B 細胞リンパ腫)の鑑別

問題 36 次の疾患のうち、自然消退の認められるものを選べ。

- (1)悪性黒色腫の原発巣 (2)莓状血管腫 (3)単純性血管腫 (ポートワイン母斑) (4)扁平母斑
a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4) のみ e.(1)~(4) のすべて

解答：b 2002 年卒試 2 番と同じ問題

- (1)○ 悪性黒色腫の原発巣の部分的消退現象はまれでなく、とくに表在拡大型と末端部黒子部に見られる。
(2)○ 莓状血管腫は、出生時貧血性局面あるいは毛細血管拡張や紅色丘疹のみで、一見虫刺症を思わせる病変を呈し、気づかれないこともある。しかし、3, 4 週経過するうちに急速に表面が莓状に隆起拡大してくる。この時期に患児をみる機会がほとんどで、その後 3~6 ヶ月でその大きさは最大となる。生後 1 年を過ぎると自然消退傾向へと向かう。wait and see policy が治療の原則。
(3)× 単純性血管腫は、生下時から認められる毛細血管の拡張を主体とする紅斑であり、隆起しない。自然消退はなく、切除、雪状炭酸圧抵法、化粧品によるカバー、レーザー光線照射などがその治療である。
(4)× 扁平母斑は、扁平な色素斑で、思春期前後に発することが多い。男子の胸筋部、肩甲部に好発し、片側性かつ有毛性のものを、特に、Becker 母斑と呼ぶ。乳児期から 6 個以上あるときは Recklinghausen 病の可能性を考える (six spot criterion)。

問題 37 痛みを伴うことが多い腫瘍はどれか。

- (1)グロームス腫瘍 (2)外傷性神経腫 (3)血管脂肪腫 (4)血管平滑筋腫
a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4) のみ e.(1)~(4) のすべて

解答：e 2003 年卒試 7 番と同じ問題

圧痛が起りやすい皮膚良性腫瘍 (Painful ANGELS) (授業ノートより)

A : angioliipoma N : neuroma G : glomus tumor E : eccrine spiradenoma
L : leiomyoma (angio) S : Schwannoma

問題 38 有棘細胞癌について正しい記載の組合せはどれか。

- (1)基底細胞癌にくらべ転移の頻度が高い。 (2)前癌病変の認められる場合が多い。
(3)放射線と紫外線はいずれも発癌作用がある。
(4)高度の熱傷癒痕でも有棘細胞癌をおこすことはあるがむしろ基底細胞癌発症の方が多い。
a.(1),(2)のみ b.(2),(3)のみ c.(2),(4)のみ d.(1),(2),(3) e.(2),(3),(4)

解答：d 2003 年 8 番と同じ問題

- (1)○ 基底細胞癌が転移を生じることはまれ。
(2)○ Bowen 病や日光角化症 (老人性角化症) がその例である。
(4)× 本邦では有棘細胞癌の原因として以前は熱傷癒痕が最も多かった。(今は日光角化症)

問題 39 Paget 病について正しいものはどれか。

- (1) 組織で管腔がみられることはあまりないが、腺癌の一種である。
 (2) 乳房および乳房外があり、乳房外 Paget 病の好発部位は腋窩である。
 (3) 臨床的には境界明瞭な角化性隆起性局面として見つかることが多い。
 (4) 表皮内癌であるため予後は良く、転移や腫瘍死はほとんどない。

a.(1)のみ b.(1),(3),(4) c.(2),(3) d.(2),(4) e.(1)~(4)のすべて

(解答) a) (2) × 最も好発する部位は外陰部 (3) ○ 角化性隆起病変ではなく、紅斑状病変
 (4) × 転移しやすく予後不良である

問題 40 尋常性白斑の治療について正しいものの組み合わせはどれか。

- (1) ステロイド外用、内服 (2) ルビーレーザー照射 (3) 表皮移植 (4)PUVA 療法

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

(解答) a) ルビーレーザーは主に母斑の治療に用いる

問題 41 症例は生後 1 ヶ月の女児。生下時に左頬に扇平な紅斑があったが、生後 1 週間白から急速に隆起、増大してきた。この疾患について正しいものはどれか。

- (1) ステロイド剤の全身投与が奏功する。 (2) 多発することが多い。
 (3) パルス色素レーザー照射法が奏功する。 (4) 自然消退傾向がみられる。

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

(解答) a) 標準 3 2 4 病歴から莓状血管腫が疑われる。生後 2 ~ 3 週以内に発生し、その後急速に拡大、隆起するがその大半は自然消退がみられる

問題 42 正しいものを選び

- (1) 表皮母斑は自然消退しやすい。 (2) 脂腺母斑では基底細胞癌を続発することがある。
 (3) 先天性巨大色素性母斑は悪性黒色腫の発生率が高い。
 (4) 扁平母斑が 6 個以上ある時はレックリングハウゼン病を疑う。

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

(解答) c (1) × 自然消退することはない (2) ○ 脂腺母斑には、特に思春期以後乳頭状汗管嚢胞腺腫などの良性付属器腫瘍、基底細胞癌、脂腺癌、アポクリン腺癌など種々の上皮性悪性腫瘍の併発が知られている (4) × 扁平母斑ではなく cafe-au-lait 斑 6 個以上で疑う。茶あざのことを一般的に扁平母斑と呼び欧米ではあざの中に点状に黒いほくろがあったり、色の濃淡差があるものを同じく「扁平母斑」、一様に薄茶色の色素斑があるものを「カフェオレ斑」とよんでいる。

問題 43 基底細胞癌の組織型について誤っているものはどれか。

a. 腺様型 b. 表在型 c. ピンカス型 d. 斑状強皮症型 e. 末端型

(解答) e)

問題 44 汗腺系腫瘍はどれか。

a. 稗粒腫 b. 石灰化上皮腫 c. 皮膚混合腫瘍 d. 脂漏性角化症 e. ボーエン病

(解答) c) a) × 上皮嚢腫 b) × 皮下腫瘍 d) × 表皮のユウゼイ状良性腫瘍

問題 45 ケロイドの好発部位はどこか。

- (1) 肩 (2) 前胸部 (3) 下腹部 (4) 足底 (5) 眼瞼

a.(1),(2),(3) b.(1),(2),(5) c.(1),(4),(5) d.(2),(3),(4) e.(3),(4),(5)

(解答) a) ケロイドの好発部位は首、胸、肩、下腹部、関節部

問題 46 熱傷面積の測定に関して正しいのはどれか。

- (1)5 の法則は小児の熱傷面積測定に利用価値が高い。
 (2)正確な面積を算出するには Lund-Browder 表を用いるのがよい。
 (3)手掌法による計測は、患者の側の手掌面面積を約 5% とする。
 (4)輸液の指標となる熱傷面積は III 度熱傷面積である。

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4) のみ e.(1)~(4) のすべて

(解答) b) (3)×手掌 1 枚分を 1% とする (4)×輸液→植皮 輸液は広範な熱傷(7~10%)で必須

問題 47 色素性乾皮症について正しいものはどれか

- (1)日本人では B 群が最も多い。 (2)常染色体優性遺伝である。
 (3)C,E,F 群には末梢神経伝達速度遅延が認められることがある。
 (4)UV 照射によって生じるピリミジンダイマーを除去し、修復する酵素の欠失による。

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4) のみ e.(1)~(4) のすべて

(解答) d) (1)× 日本人では A 群が最も多い (2)× 常染色体劣性遺伝である
 (3)× B、D、G 群に神経症状が認められる

問題 48 褥瘡について正しいものはどれか

- (1)好発部位は仙骨部である。 (2)デブリードマン、洗浄が重要である。
 (3)感染が主な原因である。 (4)消毒が重要である。

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4) のみ e.(1)~(4) のすべて

(解答) b) 褥瘡の主な原因としては阻血による血行障害。予防に重要なのは体位変換。

問題 49 膠原病の皮膚症状と皮膚組織所見の組合せのうち誤った記載を選べ。

- a.日光過敏症 SLE b.ニコルスキー (Nikolsky) 現象 MCTD
 c.石灰沈着 CREST d.表皮基底膜の液状変性 SLE e.毛孔の間大と角栓 DLE

(解答) b) Nikolsky 現象は天疱そうなどで陽性。表皮が摩擦により容易に剥離する現象

問題 50 サルコイドーシスの検査所見で正しいものを選べ。

- (1)ツベルクリン反応の減弱 (2)血中アンギオテンシン転換酵素 (ACE) の低下
 (3)血中カルシウム値の上昇 (4)血中リゾチーム値の上昇

a.(1),(3),(4) b.(1),(2) c.(2),(3) d.(4) のみ e.(1)~(4) のすべて

(解答) a) (1)○ Tリンパ球の減少のため
 (2)× サルコイド結節中の類上皮細胞が ACE を産生する
 (3)○ サルコイドーシスの活動性の指標となる

2003年度卒業試験（復元）

問題1 診断上、血清反応が重要ではないと思われる疾患は次のうちどれか。

- a.梅毒 b.成人T細胞リンパ腫／白血病（ATL） c.伝染性紅斑 d.非定型抗酸菌症 e.Gianotti病

（解答）d 非定型抗酸菌症はいずれかの抗酸菌同定法（DNAプローブ法、DNA-DNAハイブリダイゼーション法など）により診断される。皮膚非定型抗酸菌症の原因菌としては（熱帯）魚槽、塩水プールでよく繁殖する *M.marinum* が多い（皮膚非定型抗酸菌症の64%）。他の選択肢に関して、それぞれの原因となる病原体は a.梅毒スピロヘータ、b.HTLV-1、c.ヒトパルボウイルスB19、e.HBV、である。いずれも診断に際し血清反応が重要となる。

問題2 尋常性乾癬の病理組織像で正しいのはどれか。

- (1) 錯角化 (2) 角層下リンパ球性微小膿瘍 (3) 顆粒層の肥厚 (4) 真皮乳頭の延長
(5) 真皮上層のリンパ球浸潤
a. 123 b. 125 c. 145 d. 234 e. 345

（解答）c (2)× Munro's microabscess：多核白血球からなる無菌性小膿瘍
(3)× 顆粒層は消失し、表皮突起が下方へ延長する

問題3 表皮下水疱をつくるものはどれか。

- (1) 妊娠性疱疹 (2) 線状IgA皮膚症 (3) Hailey-Hailey病
(4) 疱疹状天疱瘡 (5) 後天性表皮水疱症
a. 123 b. 125 c. 145 d. 234 e. 345

（解答）b 水疱には表皮内水疱と表皮下水疱がある。
表皮内水疱（弛緩性水疱）...水疱を保てず、びらんになりやすい。天疱瘡など。
表皮下水疱（緊満性水疱）...疱膜が厚く、緊満した水疱を作る。類天疱瘡、疱疹状皮膚炎など。

問題4 サルコイドーシスの診断に有用な検査はどれか。

- (1) 内臓悪性腫瘍検査 (2) ツベルクリン反応 (3) 皮膚、リンパ節の生検 (4) 心電図 (5) 糖負荷試験
a. 123 b. 125 c. 145 d. 234 e. 345

（解答）d サルコイドーシスでは、b.○ ツベルクリン反応はしばしば減弱する。
c.○ 皮膚、リンパ節生検では非乾酪性類上皮細胞肉芽腫が特徴。 d.○ 心サルコイドーシスを合併すれば心ブロック、不整脈、アダムス・ストークス症候群が見られる。

問題5 消化管障害を合併しやすい疾患の組合せはどれか。

- (1) Peutz-Jeghers症候群 (2) Von Recklinghausen病 (3) 梅毒
(4) Gardner症候群 (5) 悪性萎縮性丘疹症（Degos病） (6) Albright症候群
a. 145 b. 246 c. 125 d. 236 e. 135

（解答）a Peutz-Jeghers症候群...遺伝性（常優）。口唇、口腔粘膜、掌蹠の多発性小黒褐色斑と消化管ポリポーシスを伴う。

Von Recklinghausen病...遺伝性（常優）。末梢神経の多発性神経線維腫。皮膚にカフェオレ斑が生じる。
Gardner症候群...家族性大腸ポリポーシス。頸部・顔面・体幹・四肢などに皮膚の囊腫様病変、多発性骨腫を伴う。

悪性萎縮性丘疹症（Degos病）...病初期には発疹のみであるが、やがて急性腹症を発症して死亡する。病態は皮膚・腸管粘膜の閉塞性細小動脈炎である。

Albright症候群...褐色斑、腸管骨線維性異形成、性的早熟を3主徴とする。褐色斑は辺縁鋸歯状で、von Recklinghausen病のカフェオレ斑と対比される。

問題6 正しいのはどれか。

- (1) 紫斑は硝子圧にて消退する。 (2) 膿疱は真皮上層の好中球の集簇である。
 (3) 水疱には表皮内あるいは表皮下のものがある。
 (4) 基底層の液状変性はSLE、皮膚筋炎、ピダール苔癬で見られる。
 (5) 掌蹠膿疱症の膿疱は無菌性である。
 a. (1)(2) b. (2)(3) c. (3)(4) d. (3)(5) e. (4)(5)

(解答) d (1)× 硝子法で消失するのは紅斑。 (2)× 水疱の内容物が膿からなるもの。
 (4)× 基底層の液状変性は細胞障害性 T 細胞による組織障害の結果としての空胞変性である (急性GVHDなど)。SLEや皮膚筋炎ではむしろ紅斑、紫斑、小水疱などがみられる。

問題7 痛みを伴うことが多い腫瘍はどれか。

- (1) グロームス腫瘍 (2) 外傷性神経腫 (3) 血管脂肪腫 (4) 血管平滑筋腫
 a. (1)(3)(4)のみ b. (1)(2)のみ c. (2)(3)のみ d. (4)のみ e.
 (1)～(4)のすべて

(解答) e 圧痛が起こりやすい皮膚良性腫瘍 (Painful ANGELS) (授業ノートより)
 A : angioliipoma N : neuroma G : glomus tumor
 E : eccrine spiradenoma L : leiomyoma (angio) S : Schwannoma

問題8 有棘細胞癌について正しい記載の組合せはどれか。

- (1) 基底細胞癌に比べ転移の頻度が高い。 (2) 前癌病変の認められる場合が多い。
 (3) 放射線と紫外線はいずれも発癌作用がある。
 (4) 高度の熱傷瘢痕でも有棘細胞癌をおこすことはあるが、むしろ基底細胞癌発症の方が多。
 a. (1)(2)のみ b. (2)(3)のみ c. (2)(4)のみ d. (4)のみ e.
 (1)～(4)のすべて

(解答) b (1)× 基底細胞癌が転移を生じることはまれ。
 (2)○ Bowen病や日光角化症 (老人性角化症) がその例である。
 (4)× 本邦では有棘細胞癌の原因として以前は熱傷瘢痕が最も多かった。(今は日光角化症)

問題9 直射日光を避けるべき疾患はどれか。

- (1) 色素性乾皮症 (2) 尋常性乾癬 (3) ペラグラ (4) DLE
 a. 12のみ b. 23のみ c. 24のみ d. 4のみ e. 1～4のすべて

(解答) e いずれも日光により誘発・悪化をきたす疾患である。DLEはSLEの皮膚限局型のこと。

問題10 生下時には何もなかった顔面に、生後数ヶ月目に点状の紅斑として始まり、急に増大してきた紅色腫瘍がある。自覚症状はない。以下の診断のうち可能性のあるものはどれか。

- (1) 莓状血管腫 (2) 海綿状血管腫 (3) 赤酒様血管腫 (4) サモンパッチ
 a. (1) b. (2) c. (3) d. (4) e. いずれでもない。

(解答) a (1)○ 莓状血管腫...生後2～3週間 (遅くとも3ヶ月) 以内に虫刺され様の紅色丘疹として発生し、1～2週間で急速に拡大する鮮紅色の隆起性病変である。
 (2)× 海綿状血管腫...生来性で、ほぼ可変。加齢とともに多少増大する。
 (3)× 赤酒様血管腫...出生時から認められる非隆起性赤色斑。
 (4)× サモンパッチ (正中母斑) ...新生児期から乳児初期にかけて生じる眉間、前額正中、上眼瞼内側、人中、項部などにみられる境界不鮮明、色調にむらのある隆起しない病変。

問題 1 1 つぎのうち誤っているのはどれか (1つだけ)。

- a. 全身性エリテマトーデスでは血小板数が減少することがある。
- b. アナフィラクトイド紫斑では内臓病変を伴わない。
- c. 尋常性乾癬の鱗屑をはがすと点状小出血が生ずる。
- d. Letterer-Siwe 病の皮疹は紫斑と鱗屑を伴う小丘疹である。
- e. 毛細血管拡張性肉芽腫は易出血性である。

【解答】 b (CHART 皮膚科) a) ○ SLE では、汎血球減少。

- b) × = アレルギー性紫斑病、Shonlein-Henoch 紫斑病。紫斑 (小児下肢に多い) + 関節痛、消化器症状 (腹痛、嘔吐、下痢、下血、血便)。血管内皮の壊死性血管炎。
- c) ○ 尋常性乾癬では Auspitz 現象陽性 (鱗屑を剥がすと点状出血)、Kobner 現象陽性 (健常部をこすると同じ皮膚病変を生じる)。
- d) ○ 悪性の間葉系腫瘍の 1 つ。皮膚所見は鱗屑を伴う出血性丘疹、掌蹠の点状紫斑、頭部の黄褐色痂皮。
- e) ○ 良性の間葉系腫瘍の 1 つ。口唇、指、顔面に好発し、易出血性。

問題 1 2 悪性黒色腫で正しいものはどれか。

- (1) 日本人では末端黒子型が多い。 (2) 末端黒子型は一般に予後が良い。
- (3) 悪性黒子型は顔面に好発する。 (4) 結節型は中でも予後不良である。
- a. 1 2 3 b. 1 3 4 c. 2 3 4 d. 全て正しい e. 全て正しくない

【解答】 b (CHART 皮膚科) 1) ○ 末端黒子型 = 足底・手掌・爪周囲。 2) × 予後悪い。 3) ○ 悪性黒子型は顔面に好発で、比較的予後は良い。 4) ○ 最も予後悪い。

問題 1 3 次のうち原因微生物が病変部より比較的容易に検出できるのはどれか。

- (1) 癬菌 (2) 白癬疹 (3) 伝染性紅斑 (4) バザン硬結性紅斑 (5) 扁平コンジローマ
- a. (1) (2) b. (1) (5) c. (2) (3) d. (3) (4) e. (4) (5)

【解答】 b (CHART 皮膚科)

- 1) ○ 青年～中年の多汗症の胸・背部、夏に灰白色 or 褐色斑。直接鏡検で *Malassezia furfur* 認める。
- 2) × 足白癬の急性増悪時に手指にみられる小水泡、丘疹。白癬菌 (－) 3) × HPV-B19
- 4) × 下腿伸側の皮膚結核。自発痛、圧痛のない皮下硬結で、潰瘍化することがある。皮下脂肪織の結核性肉芽腫脂肪織炎。
- 5) ○ 梅毒の病原体はトレポネーマ・パリドゥム。トレポネーマの存在する皮疹は、硬性下疳(第 1 期)、扁平コンジローマ・梅毒性粘膜疹(第 2 期)。

問題 1 4 正しいのはどれか。

- (1) 尋常性白斑は女性に好発する。 (2) 脱色素性母斑にはメラノサイトは存在しない。
- (3) 眼皮膚白皮症は常染色体劣性遺伝である。 (4) Sutton 現象は悪性黒色腫にもみられる。
- (5) 老人性白斑は露出部に多い。
- a. (1) (2) b. (1) (5) c. (2) (3) d. (3) (4) e. (4) (5)

【解答】 d (CHART 皮膚科) 1) ×? 男女差の表記なし。完全脱色素斑。

- 2) × メラノサイトの数は正常。ケラチノサイト内のメラノソームが少ない。皮膚色よりやや淡い白斑。
- 3) ○ 常・劣遺伝。メラノサイト (+) 4) ○ Sutton 後天性遠心性白斑は、母斑細胞母斑を中心として発生する周囲の円形状の白暈。中心の母斑は自然退縮傾向。尋常性白斑を合併することが多く、悪性黒色腫に合併することがある。

問題 1 5 脱毛を起こすことがある疾患はどれか。

- (1) 白癬 (2) 梅毒 (3) エリテマトーデス (4) ハンセン病
- a. 1 3 4 のみ b. 1 2 のみ c. 2 3 のみ d. 4 のみ e. 1～4 のすべて

- 【解答】 e (CHART 皮膚科) 1) ○ 頭部白癬では脱毛斑。
 2) ○ 第2期(3ヶ月～3年)で、梅毒性脱毛症(円形 or びまん性)。
 3) ○ 蝶形紅斑、手足、粘膜の滲出性紅斑、爪囲紅斑、脱毛、光線過敏、etc...
 4) ○ Hansen 病のらい腫型(L型)は、獅子面、らい細胞、らい腫(leproma)、脱毛。

問題 16 適切な組み合わせはどれか

- (1) 尖圭コンジローマ...*Treponema pallidum* (2) 尋常性狼瘡...*Mycobacterium leprae*
 (3) 乳児寄生菌性紅斑...*Malassezia furfur* (4) スポロトリコーシス...*Sporothrix schenckii*
 a. (1)(3)(4) b. (1)(2) c. (2)(3) d. (4)のみ e. (1)～(4)のすべて

解答 d. (1)→Human papilloma virus (2)→*Mycobacterium tuberculosis* (3)→*Candida albicans*

問題 17 性行為感染症として罹患しうるものはどれか

- (1) 疥癬 (2) 線状皮膚炎 (3) 後天性免疫不全症候群 (4) 陰茎カンジダ症
 a. (1)(3)(4) b. (1)(2) c. (2)(3) d. (4)のみ e. (1)～(4)のすべて

解答 a. (2) アオバアリガタハネカクシ をつぶし、虫体に含まれた毒素による。

問題 18 次のうち正しいのはどれか

- (1) 癩風は青年男子の軀幹に好発する。(2) カンジダ性指間びらん症は乳幼児の第1指間に好発する。
 (3) 黒色分芽菌症にはヨウ化カリウムが奏効する。
 (4) 後天性免疫不全症候群では高頻度に口腔カンジダ症を合併する。
 (5) 陰部疱疹では HSV-2 が分離されることが多い。
 a. (1)(2)(3) b. (1)(2)(5) c. (1)(4)(5) d. (2)(3)(4) e. (3)(4)(5)

解答 c. (2) 水仕事をする人の第3指間に好発する。(3) 治療は切除、5-FU 内服、アンホテリシン B 局注。ヨウ化カリウムが奏効するのはスポロトリコーシス

問題 19 次の文章で壊死性筋膜炎について正しいものはどれか。

- (1) 病変の主座は浅筋膜から皮下組織にかけてである。
 (2) 早期より切開、デブリードマンなどの外科的処置が必要である。
 (3) 四肢に好発し、有痛性のことが多い。(4) 早期からの強力な抗生剤の投与が必要である。
 a. (1)(3)(4) b. (1)(2) c. (2)(3) d. (4)のみ e. (1)～(4)のすべて

解答 e.

問題 20 次の文章の中で正しいものはどれか。

- (1) メッシュ植皮は顔面の熱傷に対してよい適応である。
 (2) 凍結乾燥豚皮などの生体包帯は深達度2度熱傷が最も良い適応である。
 (3) 腱、骨が露出した熱傷には全層植皮がよい適応となる。
 (4) 手背の2度熱傷の方が手掌のものより機能障害を残しやすい。
 a. (1)(3)(4) b. (1)(2) c. (2)(3) d. (4)のみ e. (1)～(4)のすべて

解答 d. (1)メッシュ植皮とは、広範囲に植皮する場合、メッシュダーマトームを用いて、植皮片を2-5倍のメッシュ状に拡大したものを植皮。整容的、機能的に劣る。

(2) 浅達度2度熱傷が適応 (3) 10/1000インチ前後の薄い分層植皮を用いる。生着率が高い。全層植皮は、顔面、手掌、足底など整容的、機能的再建が必要な時に用いる。

問題 2 1 ケロイドの好発部位はどこか。

- (1) 下顎部 (2) 耳 (3) 頭皮 (4) 手背 (5) 肩
 a. (1) (2) (3) b. (1) (2) (5) c. (1) (4) (5) d. (2) (3) (4) e. (3) (4) (5)

解答 b. ケロイドは前胸、背、頬顎部のざ瘡後に多発

問題 2 2 紅皮症の原因疾患になりうるのはどれか。

- (1) 薬疹 (2) 乾癬 (3) 蕁麻疹 (4) 麻疹 (5) 悪性リンパ腫
 a. (1) (2) (3) b. (1) (2) (5) c. (1) (4) (5) d. (2) (3) (4) e. (3) (4) (5)

解答 b. 湿疹続発性、各種疾患続発性、中毒性、落屑性、腫瘍性紅皮症がある。

(1) ピラツォロン系、カルバマゼピン系、INAH、抗生物質などで起こる。(2) 汎発化すると乾癬性紅皮症となる。

問題 2 3 誤っているのはどれか。

- a. 角層は紫外線防御に有力な役割を演じる。 b. 長波長紫外線 (UVA) は窓ガラスを貫通する。
 c. 日焼け(sunburn)は長波長紫外線によって起こる。
 d. MEDは、通常、中波長紫外線 (UVB) で測定する。 e. 可視光線は真皮深層まで到達する。

解答 c. 日焼けは中長波紫外線によって起こる。

MED: 最小紅斑量; 紫外線紅斑を生じるのに必要な最も少ない UVB の量

問題 2 4 C型肝炎ウイルス感染症に合併するのはどれか。

- (1) 環状肉芽腫 (2) 好酸球性膿疱性毛包炎 (3) クリオグロブリン血症
 (4) 扁平苔癬 (5) 皮膚そう痒症
 a. (1) (2) (3) b. (1) (2) (5) c. (1) (4) (5) d. (2) (3) (4) e. (3) (4) (5)

解答 e. (1) 糖尿病に合併することが多い。(2) AIDS に合併することがある。

問題 2 5 下記はいずれも顔面に多発性丘疹を生じる疾患である。特に丘疹が眼瞼に好発するものはどれか。(1) 尋常性ざ瘡 (2) 顔面播種状粟粒性狼瘡 (3) 汗管腫

- (4) 多発性丘疹状毛包上皮腫 (5) Bourneville-Pringle 母斑症
 a. (1) (2) b. (1) (5) c. (2) (3) d. (3) (4) e. (4) (5)

解答 c. or (d) (1) 毛孔一致性の丘疹 (2) 下眼瞼部、上口唇部、前顎部、頬部に好発

(3) 女性の眼瞼、前胸部に好発 (4) 眼瞼内側より鼻背部、左右鼻唇溝部、口囲に好発

(5) 常染色体優性遺伝、知能障害、てんかん発作、脂腺腫(顔)が3主徴

問題 2 6 レックリングハウゼン病にみられる症状を選べ。

- (1) カフェオーレ斑 (2) 聴神経腫瘍 (3) 脊椎側彎 (4) 神経線維腫
 a. (1) (3) (4) b. (1) (2) c. (2) (3) d. (4)のみ e. (1)~(4)のすべて

解答 e.

問題 2 7 誤っているのはどれか

- (1) フォークト・小柳・原田病では両側ブドウ膜炎に引き続き、皮膚に色素沈着を生じる。
 (2) 肝斑は主として 30 歳以上の男性の頸部に生じる。
 (3) 副腎皮質機能亢進症によりアジソン病を生じる。
 (4) 尋常性白斑では紫外線療法は禁忌である。
 a. (1) (3) (4) b. (1) (2) c. (2) (3) d. (4)のみ e. (1)~(4)のすべて

- 解答 e. (1) 皮膚に色素沈着→白斑、白毛 (2) 男性→女性 (3) 亢進→低下
(4) 尋常性白斑の治療は、PUVA 療法 (ソラレンと UVA の併用)

問 28 膠原病の皮膚症状と皮膚組織所見の組み合わせのうち誤った記載を選べ。

- a.日光過敏症 SLE b.ニコルスキー (Nickolsky) 現象 MCTD
c.石灰沈着 CREST d.表皮基底膜の液状変性 SLE e.毛孔の拡大と角栓 DLE

解答) b

- a.o: 光線過敏症は SLE の 11 の診断基準の一つ。(今日の治療指針 2003; SLE)
b.x: ニコルスキー現象は臨床的に皮疹のない皮膚面に指先などで機械的圧迫を加えると、容易に表皮剥離や水疱を生ずる現象で、尋常性天疱瘡や SSSS (ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群) で多く見られる。(南山堂医学大辞典; ニコルスキー現象)
c.o: 進行性全身性硬化症 (PSS) のなかで石灰化症 calcinosis (C), レイノー現象 Raynaud's phenomenon (R), 食道蠕動運動低下 esophageal dysfunction (E), 手指硬化 sclerodactyly (S), 毛細血管拡張症 telangiectasia (T) がみられるものを CREST 症候群と呼ぶ。本症は PSS と比べると、生命予後は良好であり、PSS から亜型として分類する臨床的意味がある。(南山堂医学大辞典; クレスト (CREST) 症候群)
d.o: SLE の皮膚の病理組織所見は、表皮細胞の角化、基底層の液状変性、真皮血管周囲の細胞浸潤が基本的な所見である。(新臨床内科学; SLE)
e.o: DLE の病理組織では著明な角化と角栓を伴い、表皮は萎縮性、基底細胞層に液状変性を認め、真皮血管周囲、毛嚢、汗腺周囲にリンパ球浸潤を認める。(皮膚疾患治療指針; DLE)

問 29 薬剤の全身投与による副作用で誤っているものはどれか。

- a.光線過敏症 消炎剤 (ピロキシカムなど) b.肺線維症 プレオマイシン (ペプロマイシン)
c.脱毛 抗腫瘍剤 d.多毛 シクロスポリン e.色素沈着 ステロイド

解答) e?

- a.o: ピロキシカムは発疹、そう痒感、光線過敏症等の過敏症を起こすことがある (治療薬マニュアル 2003; ピロキシカム)
b.o: プレオマイシンは抗腫瘍薬で扁平上皮癌に多く用いられるが、間質性肺炎、肺線維症などの重篤な副作用を引き起こす事がある。(南山堂医学大辞典; プレオマイシン)
c.o: 薬剤による脱毛の多くは抗腫瘍剤 (シクロホスファミド, ビンクリスチンなど), 精神神経用剤 (トリパラノール), 抗凝固剤 (ヘパリンなど), 抗甲状腺剤 (チオウラシル) などで引き起こされる。(内科診断学; 脱毛症)
d.o: シクロスポリンは多毛の原因となる。(治療薬マニュアル 2003; シクロスポリン)
e.x?: 色々調べてみたのですが、ステロイド外用は色素沈着の原因とはいえない、という否定的な意見が多いようです。皮疹などの後遺症としての色素沈着と、ステロイド外用による副作用が混同されているのでは・・・という意見がありました。内服では? と思い調べたのですがこれも良くわかりませんでした。一応 e を答えとしておきます。

問 30 正しいものを選べ。

- (1) 毛孔性苔癬は主に若年女性の上腕伸側に認められる。
(2) 良性型黒色表皮腫では主に肥満に合併する。 (3) 扁平苔癬は薬剤惹起性のものが多い。
(4) ジベルばら色粧糠疹は自然治癒しやすい。
a. 134のみ b. 12のみ c. 23のみ d. 4のみ e. 1~4のすべて

解答) a (1) o: 毛孔性苔癬は毛孔部が角化するもので、小児、思春期女子に多く、四肢伸側 (特に上肢) に多発する。角質溶解剤の外用やビタミン剤内服で治療し、加齢とともに軽快する。(南山堂医学大辞典; 毛孔性苔癬)

(2) ×: 肥満に合併するのは仮性型で、良性型は内分泌障害や先天異常を伴うことが多い。(南山堂医学大辞典; 黒色表皮腫)

(3) ○: 本症の病因は不明なことが多いが、最近では薬剤やウイルスなどが指摘されている。前者では脳循環改善薬、降圧薬など比較的長期間投与された後に生じることが多く、後者では C 型肝炎ウイルスの関与が指摘されている。(今日の治療指針; 扁平苔癬)

今日の診療プレミアム Vol.13 DVD-ROM 版 (C) 2003 IGAKU-SHOIN Tokyo

(4) ○: 2~3cm と比較的大型の皮疹が 1~2 個生じ(初発疹)、約 1 週間後体幹~四肢近位側に軽い紅斑と鱗屑からなる指頭大の皮疹を散布性に多発する。痒み以外に全身症状はなく、3~6 週で自然消退する。(南山堂医学大辞典; ジベルバラ色靴糠疹)

問 3 1 正しいものを選び。

- (1) 尋常性乾癬の皮疹部は悪性リンパ腫に移行しやすい。
 (2) 尋常性乾癬患者健常部を刺激することにより乾癬皮疹が生ずることをアウスピッツ現象という。
 (3) 尋常性乾癬の治療には免疫抑制剤の FK 5 0 6 内服が使われている。
 (4) 急性滴状乾癬では上気道感染から起こりやすい。
 a. 1 3 4 のみ b. 1 2 のみ c. 2 3 のみ d. 4 のみ e. 1 ~ 4 のすべて

解答) d? (1) ×?: 移行しやすいとはいえないかと・・・

(2) ×: アウスピッツ現象はアウスピッツ血露現象とも呼ばれ、鱗屑を剥離すると点状出血をみるものを呼ぶ。

(3) ×: シクロスポリン(サンデミュン、ネオオラルなど)はアトピーにも尋常性乾癬にも使われていますが、FK 5 0 6 / タクロリムス(プロトピック)の適応はアトピー性皮膚炎のみようです。

(4) ○: 滴状乾癬は咽頭炎や扁桃腺炎が先行し、それに引き続いて雨滴状の細かい乾癬皮疹が急激に出現

問 3 2 アトピー性皮膚炎について正しいものはどれか。

- (1) 血中 I g E が高値のことが多い。 (2) 痒みが強く、苔癬化局面を形成することが多い。
 (3) 皮膚のバリアー機能が低下していることが多い。
 (4) 治療の first choice はステロイド内服である。
 (5) 紅色皮膚描記症が陽性のことが多い。
 a. (1) (2) (3) b. (1) (2) (5) c. (1) (4) (5) d. (2) (3) (4) e. (3) (4) (5)

解答) a (1) ○: 血清 I g E 値も発疹の持続期間の長い患者では高値を示すことが多い。しかし、2 割程度の患者では血清 I g E 値が正常である。(今日の診断指針 2 0 0 3 ; アトピー性皮膚炎)

(2) ○: 慢性に経過し、完成された病巣では苔癬化が著明であるが、機械的刺激を受けやすい部位が侵されやすい。そう痒は常に著しく、しばしば発作的である。(南山堂医学大辞典; アトピー性皮膚炎)

(3) ○: アトピー性皮膚炎の原因はまだ十分分かっていないが、皮膚の乾燥、皮膚のバリアー機能の障害、ダニ、ハウスダスト等の外的な刺激に対するアレルギー性炎症反応、精神的ストレスなど多くの因子の関与が指摘されている。そして、これらの因子が相乗的に作用し、痒みの持続、掻破行動、皮疹の増悪が慢性的に続き、悪循環を形成する。

(4) ×: アトピー性皮膚炎の薬物療法では対症療法が中心となる。痒みに対しては止痒作用のある薬剤(抗ヒスタミン剤、抗アレルギー薬)の内服、および皮膚病変の性状に応じた外用剤の選択を行う。湿潤傾向のある時にはステロイド外用剤と亜鉛華単軟膏の重層法を行う。また、寛解時には保湿剤を外用する。(以上、治療薬マニュアル; アトピー性皮膚炎)

内服薬ではステロイドは第 1 選択とは思われないので、×かと。

(5) ×: アトピー性皮膚炎患者の皮膚に線状の機械的刺激を加えると擦過部に一致した線状の貧血斑をきたすことが多く、白色皮膚描記症 *dermographismus albus* と呼ばれる。(南山堂医学大辞典; 皮膚描記症)

問33 正しいものを選び。

- a. 鉄欠乏性貧血では著明な爪の肥厚を伴う。 b. 抗セントロメア抗体は皮膚筋炎に出現しやすい。
 c. 爪郭の点状出血は結節性多発性動脈炎に出現しやすい。
 d. 全身性アミロイドーシスでは皮膚症状は出現しない。 e. 基底細胞癌は顔面に好発する。

解答) e a×: 鉄欠乏性貧血では爪甲が陥凹するスプーン爪が認められる。(南山堂医学大辞典; スプーン爪) 爪の肥厚は爪白癬などで起こりやすい。

b.×: 抗セントロメア抗体はSScやCREST, Raynaud症候群などで陽性となる。(臨床検査データブック; 抗セントロメア抗体)

c.×: 爪郭の点状出血はOsler病に認められる。(南山堂医学大辞典; 爪病)

d.×: 顔面の小丘疹, 眼瞼の出血斑などの皮膚症状が見られる。(今日の診断指針; 皮膚アミロイドーシス)

e.○: 高齢者の顔面, 特に下眼瞼下・鼻部・上嘴唇に好発。黒い丘疹の縁取り, 中央部潰瘍が典型。(皮膚疾患治療指針; 基底細胞癌)

問34 薬疹の記載について正しいのはどれか。

- (1) TEN型薬疹は死に至ることもまれではない。
 (2) 固定薬疹は原因薬剤を摂取するたび異なる部位に出現する。
 (3) 播種状紅斑丘疹型は紅皮症化することがある。
 (4) 薬疹が疑われたら, 問診, パッチテストの順で検査を進める。

a. 134のみ b. 12のみ c. 23のみ d. 4のみ e. 1~4のすべて

解答) a (1)○: TENは, 広範な紅斑・水疱・表皮剥離・びらん・潰瘍を来す表皮の壊死性障害を特徴とした最重症型の表皮型多形滲出性紅斑である。肝障害, 造血障害, 気道障害による呼吸困難や, 感染症を合併すると敗血症を起こし死亡することもある。(皮膚疾患治療指針; 重症薬疹)

(2)×: 固定薬疹は特定薬物の内服または注射のたびに, 同一部位に反復惹起される限局型軽症型薬疹である。(南山堂医学大辞典; 固定薬疹)

(3)○: 時に紅皮症型に移行して重症となることがある。(治療薬マニュアル: 薬疹の診方と対応)

(4)○: 薬疹の性状, 病歴などから薬疹が即時型アレルギー反応によるものか, 遅延型アレルギー反応によるものかなどを検討する。検査はリンパ球刺激試験, 皮内反応, 貼付試験など安全なものから行う。(治療薬マニュアル; 薬疹の診方と対応)

問35 痛風について正しいのはどれか。

- (1) 耳介および関節部の結節 (2) 日光過敏 (3) 肢端の壊疽
 (4) 高尿酸血症 (5) 疼痛発作時の非ステロイド系抗炎症剤の使用

a. 123 b. 125 c. 145 d. 234 e. 345

解答) c (1)○: 高度の高尿酸血症患者においては関節液中にも結晶が析出することがあり, 放置例では皮下組織, 耳介, 骨内などに痛風結節(tophus, tophi) (尿酸塩結晶の類円形結晶塊) が形成される。(整形外科治療指針; 痛風) (5)○: 痛風関節炎には速効性で鎮痛作用の強い非ステロイド抗炎症薬(NSAID)を, できるかぎり速やかに投与する。(治療薬マニュアル; 痛風治療薬) ということなので答えはcでしょう。

(2)(3)は痛風の症状には見られないようです。

問36 ヨードカリが有効なのはどれか。

- (1) スポロトリコーシス (2) 滴状類乾癬 (3) アトピー性皮膚炎
 (4) 尋常性天疱瘡 (5) Sweet病

a. (1)(2) b. (1)(5) c. (2)(3) d. (3)(4) e. (4)(5)

解答) b

(1) ○: *Sporothrix schenckii* による慢性感染症. *S. schenckii* は土壌・植物などにおいて、外傷を契機に皮膚に感染する. 温暖・高湿の地域に多い. 吸入して肺に病変をつくることがあるが、稀である. 外傷部位に、外傷治癒後 1~2 週間後、浸潤ある紅斑形成、徐々に増大、中心部自壊して増殖性潰瘍を形成する. ヨードカリが著効する.

(2) ×: 鱗屑をつけた淡紅色丘疹が多発. 色素脱失, 沈着を来す. 個疹は数週間で出沒し, 慢性の経過をとる. 急性痘瘡状苔癬状秕糠疹(PLEVA)は急性の経過で全身に多様な発疹を生ずる. 秕糠様鱗屑をつけた丘疹, 小水疱, 壊死, 痂皮, 色素脱失, 沈着, 痘瘡様の癬痕など. 治療は DDS 内服が有効であるほか, 副腎皮質ステロイドや抗生物質の内服, 日光照射, プーバ (PUVA) 療法が行われている. (皮膚疾患治療指針: 類乾癬) (3) ×

(4) ×: ステロイド内服療法が中心. 他に血漿交換や γ グロブリン大量投与など.

(5) ○: Sweet 病は, 発熱, 末梢血好中球增多, 顔面・頸部・四肢に好発する有痛性隆起性紅斑ないし結節, 病理組織学的に真皮内にびまん性好中球浸潤を認める, の 4 つを特徴とする疾患である. ステロイドの全身投与の他にヨードカリ, コルヒチンの内服療法が有効である. (今日の治療指針 2002; Sweet 病)

問 37 急性湿疹で見られる病理組織学的所見を下記より選べ。

- a. satellite cell necrosis b. septal panniculitis c. leukocytoclastic vasculitis
d. spongiosis e. Munro's microabscess

解答) d?

- a. satellite cell (衛星細胞) は, 骨格筋細胞や神経節における神経細胞体のような巨大細胞の表面に密着し, これを囲むように存在する細胞を言う. b. panniculitis は皮下脂肪 [組] 織炎を意味する.
c. 白血球破碎性血管炎 (皮膚の急性血管炎であり, 臨床的には特に下肢に触知できる紫斑をみるのが特徴. また組織学的には, 好中球とときには真皮小静脈周囲のフィブリンの滲出が特徴である. 核の細破や赤血球の溢出を伴う. 皮膚に限定される場合と Henoch-Schonlein 紫斑病のように皮膚以外の他の組織にも病変をみる場合がある.) d. 海綿状態, 表皮の細胞間の炎症性の浮腫をいう.
e. マンロー微小膿瘍とは, 乾癬の角質層にみられる多形核白血球の顕微鏡的集合を言う.
(以上, ステッドマン医学大辞典) 急性湿疹では浮腫性の紅斑をまず形成するので, d が正しいと思われます。

問 38 ウイルス感染の関与により発症する事がある皮膚科領域の悪性腫瘍について, 正しい組み合わせはどれか。

- (1) バーキットリンパ腫 サイトメガロウイルス (2) NK/T細胞リンパ腫 EBウイルス
(3) カポジ肉腫 ヒトヘルペスウイルス-8 (4) ボーエン病 単純ヘルペスウイルス 2型
(5) 疣贅状表皮発育異常症患者の SCC ヒトパルボウイルス B19
a. (1) (2) b. (1) (5) c. (2) (3) d. (3) (4) e. (4) (5)

解答) c? (1) ×: バーキットリンパ腫の原因ウイルスは EBウイルスである. (内科診断学; EBウイルス)

(2) ○?: EBウイルスは Bリンパ球に感染する. が, 伝染性単核球症では EBウイルスが感染した Bリンパ球に対して NK細胞が多数出現しこれを排除する (異型リンパ球の増加). また CAEBV (慢性活動性 EBウイルス感染症) では T細胞性腫瘍を伴う場合がある. ということで ○? (戸田新細菌学; EBウイルス)

(3) ○: HHV-8 が内皮細胞に感染して腫瘍化することでカポジ肉腫が発症すると考えられている. (戸田新細菌学; ヒトヘルペスウイルス-8) (4) (5) ×: どちらも HPV が原因と考えられている. (戸田新細菌学: HPV)

問 39 熱傷について下記の分の正しいものの組み合わせを選び a~e の記号で答えよ。

- (1) できるだけ早期から抗生物質の投与を行う (2) 水疱蓋はできるだけ早期に除去する
 (3) 植皮術の場合、第1選択は同種移植である。 (4) 後遺症として瘢痕萎縮が挙げられる
 a. 1 3 4のみ b. 1 2のみ c. 2 3のみ d. 4のみ e. 1~4のすべて

解答) d? (1) ×: 受傷直後の創面は無菌であり、日和見感染やMRSA感染を避けるため抗生物質の予防的投与は避けるべきである。(新臨床内科学; 熱傷)

(2) ×: 水疱が形成されている場合は、感染防止のため内容を注射器で吸引し、水疱被膜を密着させる。すでに水疱が破れている場合には、原則としてこれを除去する。(治療指針2003; 熱傷の局所療法)

(3) ×?: 自家移植のほうが生着は良いですが、広範囲の熱傷の場合で自家移植は難しい場合もあるので・・

(4) ○: 植皮を行った場合でも、肥厚性瘢痕や拘縮が起こりやすい。(今日の治療指針2003; 熱傷治療)

問 40 次のうち誤っているのはどれか。

- (1) *Candida albicans* は健常人の口腔、消化管に常在する。
 (2) *Malassezia furfur* はヒトの皮膚の常在真菌である。
 (3) 頭皮のフケや脂漏性皮膚炎には、*Malassezia furfur* が関与している。
 (4) カンジダ性指間びらんは成年女子の第1~2指間に好発する。

a. 1 3 4のみ b. 1 2のみ c. 2 3のみ d. 4のみ e. 1~4のすべて

解答) b? (2) ○: *Malassezia furfur* は、癬風やマラセチア毛包炎の原因菌として患部から分離されるが、健常人の頭部や体部皮膚にも常在菌として生息することが多い。(南山堂医学大辞典; マラセチア)

(3) ×?: *Malassezia furfur* は成人の表皮の角質層に限局して寄生し、落屑斑をつくる。(戸田新細菌学; マラセチア) フケ、脂漏性皮膚炎の原因菌とも言われていますが、選択肢的には×でしょうか・・

(4) ×: カンジダ性指間びらんは水仕事の多い人に起こりやすく、第3、第4指間にしばしば見られる。

問題 41 下記の文のうち正しいものを選び

- (1) 種痘様発疹症は近年 HHV-6 の持続感染症であることが判明した。
 (2) 光線過敏性皮膚症の発症機序には光毒性と光アレルギー性がある。
 (3) 色素性乾皮症は紫外線による DNA 損傷を修復できないことにより生じる。
 (4) 褥瘡は臨床所見より、緑色期、黄色期、赤色期、白色期に区別される。

a. (1),(3),(4)のみ b. (1),(2)のみ c. (2),(3)のみ d. (4)のみ e. (1)~(4)のすべて

解答) c 1) × HHV-6 ではなく EB ウイルスである。

3) ○ ピリミジンダイマーを除去し修復する酵素 (DNA helicase など) の欠損による。

4) × 黒色期、黄色期、赤色期、白色期である。

問題 42 誤りはどれか。

- a) 表皮内はランゲルハンス細胞と呼ばれる抗原提示細胞が存在する。
 b) 接触皮膚炎の原因物質の検索は主に皮内反応によって行う。
 c) 接触皮膚炎は T 細胞が関与する遅延型皮膚過敏反応である。
 d) アトピーとは IgE を産生しやすい体質をさす。
 e) Th2 細胞の活性化は好酸球を誘導しやすいと考えられている。

解答) b) a) ○ ランゲルハンス細胞は骨髄由来で表皮の数%を占め、細胞表面に MHC クラス II 分子を持ち、抗原情報を T 細胞に伝達する。 b) × 貼付試験が有効である。 d) ○ アトピー素因については 2003 年度概説問題 11 を参照 e) ○ Th2 が産生する主なサイトカインは IL-4、IL-5、IL-13

であり、このうち IL-5 は好酸球の分化促進・活性化に関与する。

問題 43 左右の項目の組み合わせのうち、関係の深いものはどれか。

- (1)基底細胞癌 - 核の柵状配列 (nuclear palisading) (2)脂漏性角化症 - Leser-Trelat 症候群
 (3)血管肉腫 - IL-2 療法 (4)隆起性皮膚線維肉腫 - 花むしろ構造(storiform pattern)
 a.(1)のみ b. (1),(3),(4)のみ c.(2),(3)のみ d.(2),(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

- 解答 e 1) ○ 腫瘍層の最外層で核が柵状配列をとる
 2) ○ 脂漏性角化症が短期間で多発し内臓癌を合併する症候群を Leser-Trelat 症候群という
 3) ○ IL-2 によって誘導されるリンフォカイン活性化キラー細胞が血管内皮細胞を障害しやすい性質を利用。血管肉腫は外科的切除、化学療法、放射線療法などは無効。
 4) ○ 腫瘍細胞は束状および花むしろ状に増殖する

問題 44 次のうち、内臓悪性腫瘍の合併が多いものはどれか。

- (1)蝶形紅斑 (2)バザン硬結性紅斑 (3)手掌紅斑 (4)匍行性花環状紅斑
 a.(1),(3),(4)のみ b. (2),(3)のみ c. (1), (4)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

- 解答 d 1)×SLE に特徴的 2)×若い女性の下腿伸側に生じる暗赤色の硬結。抗結核薬を投与する。
 3)× 肝硬変と関連 4) ○ 環状紅斑の一種であり内臓悪性腫瘍の合併が多い。

問題 45 抗ヒト IgG 抗体を用いた蛍光抗体法にて表皮基底膜に線状の蛍光が認められた。まず疑うべき疾患は何か。 a.シェーグレン症候群 b.全身性強皮症 c.SLE d.皮膚筋炎 e 慢性関節リウマチ

- 解答 c. b.× 病態は活性化された線維芽細胞から過剰に産生された細胞外基質蛋白の沈着であり真皮の浮腫と膠原線維の増生を来す。 c○ 蛍光抗体直接法で表皮基底膜に IgG、IgM、C3 の沈着 (ループスバンド) d. × 蛍光抗体法陰性。真皮上層にムチン性浮腫。 e. × 滑膜表層部に IgG が沈着

問題 46 赤血球の遊出、血管周囲の好中球の浸潤、白血球の核破壊、血管壁の膨化とフィブリノイド変性が特徴的とされるのは、

- a.アナフィラクトイド紫斑 b.慢性蕁麻疹 c.多形滲出性紅斑
 d.Stevens-Johnson 症候群 e.網状皮斑(livedo)

- 解答 a a○ 下肢の真皮の小血管に上記の病変が生じて紫斑を認める。全身の血管が犯されたものが Schonlein-Henoch 症候群。
 b. × ヒスタミンによる毛細血管透過性亢進、血漿成分の組織内漏出に加えて好酸球、好中球、単核球などの細胞浸潤を伴う。
 c. × 主に皮膚、ときに粘膜に虹彩状のもりあがりがあり滲出性を伴う紅斑を認める。原因は多岐にわたる。
 d. × 多形滲出性紅斑のうち皮膚病変に広範な粘膜病変を伴い発熱等の全身症状を認める
 e. × 比較的大きな網状から樹枝状の形態を示す紅斑。皮膚末梢循環障害により、毛細血管や最小血管の拡張、血流鬱滞が生じ、表皮の障害、真皮弾性線維の増生が起こる

問題 47 生下時より顔面の片目の周りに赤色のあざがあり、てんかん発作を生じた。考えられる疾患はどれか。

- a.スタージ・ウェーバー症候群 b.クリッペル・ウェーバー症候群 c.ポイツ・イェーガー症候群
 d.レックリングハウゼン病 e.プリングル病

- 解答 a a) ○ 顔面の片側のⅢ神経 1、2 枝支配領域の血管腫、同側の脳萎縮、石灰化、対側の痙攣発作を呈する症候群。精神遅滞、緑内障、牛眼を伴う。
 b) × 出生時より四肢の単純性血管腫、患肢の肥大延長を認める。
 c) × 口腔の皮膚や粘膜の色素斑、消化管ポリポシスなどを主徴とする。
 d) × カフェオレ斑、皮膚の神経線維腫、小レックリングハウゼン斑、脊椎の側弯など。
 e) × 結節性硬化症。左右対称性の顔面の皮脂腺腫、葉状白斑、知能発達遅延、再発性痙攣発作を主症状とする。脳腫瘍を始めとして心臓に横紋筋肉腫、腎に血管脂肪腫などを合併する。

問題 48 色素ダイレーザー照射療法が一般に効果があるものを選び。

(1)黄色腫 (2)単純性血管腫 (ポーツワイン母斑) (3)蕁状血管腫 (4)尋常性白斑

a.(1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 c 4)× PUVA (光化学療法) の適応である。

問題 49 生下時より前頭正中部および軀幹正中部に脱色素斑がみられた。骨、眼、聴力に異常は認められない。拡大、縮小傾向は見られない。診断名は？

a.まだら症 (限局性白皮症) b.尋常性白斑 c.全身性白皮症

d.フォークト小柳原田病 e.遺伝性対側色素異常症

解答 a) a) ○ 先天性の色素異常症であり、前額部白斑と前頭部白毛が特徴的。四肢、体幹では地図状白斑を対側性に認める。

b) × 対側性ないしは分節状に白斑が生じる。後天性で拡大傾向を示すことが多い。

c) × 常染色体劣性遺伝。全身のメラニン色素の減少ないし欠如により、髪が白く肌もやや白っぽいピンク色となる。チロシナーゼ活性陽性型と陰性型がある。

d) × 髄膜炎、ブドウ膜炎後に脱毛、白毛、白斑が出現する。ブドウ膜炎、聴器障害、白斑、白毛、脱毛症の五つが特徴。

e) × 常染色体優性遺伝。四肢末端に濃淡さまざまな褐色小斑および小脱色素斑が網目状に混在する。

問題 50 菌状息肉症について正しいのはどれか。

(1)B細胞リンパ腫で、ATLと同様に南西日本に多発する。

(2)皮膚腫瘍として初発することが多く、進行が早い。

(3)病初期からの多剤併用療法と全身電子線照射により生存率が有意に延長した。

(4)表皮親和性をもって浸潤、増殖し、しばしば表皮内にポートルエ微小膿瘍がみられる。

a. (1),(3),(4)のみ b.(1),(2)のみ c.(2),(3)のみ d.(4)のみ e.(1)~(4)のすべて

解答 d. 1) × B細胞ではなくT細胞である。

2) × 非特異的紅斑として初発し、10-20年の紅斑期の後に、扁平浸潤期、腫瘤期を経て内臓へと病変が拡大する。

3) × 病初期では紫外線療法、 γ -INF療法、ステロイド外用療法などを行う。この疾患においては免疫を保つことが重要で、病初期の化学療法の予後はよくない。

4) ○ 菌状息肉症は皮膚T細胞リンパ腫の一種であり、これらの多くの例でT細胞はCD4陽性ヘルパー/インデューサーT細胞の性格を持ち、これらの細胞成分由来の膿瘍は表皮内に浸潤、増殖する傾向がある。いくつかの膿瘍細胞が表皮内に集積してあたかも小さな膿瘍と見えるものがポートルエ膿瘍。

2005年度概説試験

標準皮膚科学第7版、戸田新細菌学改訂第32版を参考に解答を作製した

問題1 次のI-IIIの設問に対し、解答を1つ選び解答欄に記号を記入しなさい。

I. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1)ランゲルハンス細胞は骨髄由来の樹状細胞である。
 - 2)ランゲルハンス細胞は表皮よりも真皮内に存在する。
 - 3)表皮細胞はメラニンを産生する。 4)血管は表皮内にもある。
- a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 e 2005年卒試問4に類似 2)標準12 表皮内に常在。基底～有棘層の細胞間に散在。
3)メラノサイト：表皮基底層にある色素産生細胞で、分枝する突起を有し、これによってメラノソームが表皮細胞に運ばれて表皮の色素沈着をきたす 4)表皮に血管は存在しない。

II. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1)人間の細胞の直径はおよそ100micrometerぐらいである
 - 2)表皮は5層-15層ぐらいの表皮細胞の積み重ねである
 - 3)表皮の厚さはおよそ1mmである 4)表皮は生体のバリア機構を担う
- a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 f 1)×約10-20μm。 3)×0.1~0.2mm

III. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1)紅斑上に丘疹や結節が伴っている場合には、紅色局面という表現をとる。
 - 2)膨疹は一過性の真皮の浮腫である。 3)皮下組織内のしこりには結節という表現は使用しない。
 - 4)俗にいう「ふけ」は痂皮のことである。
- a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 a 3× 結節、硬結、腫瘤などと表現する 4× ふけ：皮膚および頭皮の細かい鱗屑 痂皮：かさぶた、皮膚の痂皮はしばしば破れた小疱や膿疱の表面上の乾燥した血清や膿により形成される

IV. 間違いはどれか。1)-4)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1)ヒスタミンは血管内皮細胞に多く貯蔵されている。
- 2)閉鎖貼付試験(クローズドパッチテスト)は遅延型接触過敏症の診断に有用である。
- 3)免疫抑制薬外用薬であるFK506(タクロリムス)軟膏はアトピー性皮膚炎に有効である。
- 4)クインケ浮腫は蕁麻疹の一つのタイプと考えられる。

解答 1 標準31 肥満細胞などにヒスタミンは貯蔵されている

V. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1)蕁麻疹は通常数時間以内に消退する痒みのある膨疹である。 2)蕁麻疹の原因は不明のことが多い。
 - 3)蕁麻疹の第1選択薬は内服ステロイド薬である。 4)蕁麻疹ではショックになることはない。
- a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 a 標準144 3)× 基本は抗ヒスタミン薬

VI. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1) 結節性紅斑はベーチェット病の一症状として起こりうる。
- 2) 結核ではバザン軟性紅斑が併発することがある。
- 3) スティーブンス・ジョンソン症候群は多形滲出性紅斑の粘膜重症型である。
- 4) スイート病は好酸球が活性化する疾患である。

a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 e 1) ○標準 1 1 8 2) ×標準 3 9 8 結核疹では Bazin 硬結性紅斑が併発することがある。
4) ×標準 1 1 9 好中球異常活性化

VII. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1) 慢性痒疹は痒みの強い慢性の結節性病変のことである。 2) サルコイドーシスでは結節性紅斑は伴わない。
- 3) 紅皮症ではリンパ節腫脹は伴わない。 4) 結節性紅斑では発熱、関節痛を伴うことがある。

a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 d 2) 標準 1 1 8 日本では例が少ないが伴うことがある 3) 標準 9 1 表在リンパ節は原疾患がリンパ腫でなくともしばしば多数腫大し、弾性軟 4) 標準 1 1 8 前駆症状として上気道感染や発熱、関節痛などがみられる

VIII. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1) レーザー・トレラ症候群では血管腫が多発する 2) 癬痕浸潤はサルコイドーシスでみられる
- 3) 環状肉芽腫は糖尿病患者に併発することがある
- 4) 皮膚筋炎では内臓悪性腫瘍の合併は極めてまれである

a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 b 1) ×標準 3 1 2、5 0 5 2) ○標準 2 3 1 サルコイドーシスの皮膚病変には大きく、結節性紅斑、癬痕浸潤、皮膚サルコイドの3つがある。 3) ○標準 2 3 3 汎発性の場合、およそ半数の患者に糖尿病が合併する。

IX. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1) 皮膚筋炎は間質性肺炎を合併しにくい。 2) 太鼓バチ指は慢性腎炎でみられやすい。
- 3) 壊疽性膿皮症は高安病と合併しやすい。 4) 全身性紅斑性狼瘡では心包炎を合併しやすい

a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 c 1) ×標準 2 4 7 合併しやすい

2) ×太鼓バチ指は、チアノーゼ型先天性心疾患、Eisenmenger 症候群、気管支拡張症、肺膿瘍、膿胸、肝硬変、肺癌、悪性中皮腫、感染性心内膜炎、動脈炎、動脈瘤、特発性肺動静脈瘻、Crohn 病、潰瘍性大腸炎、甲状腺および副甲状腺疾患、サルコイドーシスなどで見られる。

3) ○標準 4 9 6 合併症には UC、RA、Crohn 病、DM、白血病、高安病、白血病、単クローン性γグロブリン血症などがある。

X. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1) アナフィラクトイド紫斑病では腹痛がみられやすい。 2) ペラグラでは下痢を起こしやすい。
- 3) クモ状血管腫は重症筋無力症で認められやすい。 4) 肝硬変では男性化乳房が認められる。

a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 a 1) ○標準 1 3 6 不定の腹痛は高頻度に見られる

2) ○標準 2 9 7 皮膚炎、消化器症状(下痢)、精神神経症状(抑うつ状態、痴呆)を3徴とする

XI. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1)天疱瘡ではニコルスキー現象が陽性となる。 2)類天疱瘡では表皮内水疱が認められる。
 3)天疱瘡では抗基底膜抗体が陽性となる。 4)類天疱瘡では好酸球浸潤が認められることが多い。
 a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 d 1) ○尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡どちらにもみられる 3) ×類天疱瘡では抗基底膜抗体が陽性 2)、4) 類天疱瘡では生検皮膚の組織学検索により表皮下水疱と好酸球の浸潤を認める

XII. 正しい組み合わせはどれか。a)-f)の記号を解答欄に記入せよ。

- 1)蛍光抗体法は皮膚表面を目視するための方法である。
 2)ジューリング(Duhring)疱疹状皮膚炎ではグルテン過敏症を伴いやすい。
 3)天疱瘡では抗デスモゾーム抗体が陽性である。 4)類天疱瘡の第1選択薬は免疫抑制剤である。
 a)1,2 b)2,3 c)3,4 d)1,4 e)1,3 f)2,4

解答 b 4) ×治療の基本は副腎皮質ホルモン内服であったが、最近テトラサイクリンとニコチン酸アミド併用内服療法の有効性が明らかとなり第一選択薬となった。

問題2 以下のI-IVの設問に対し、a-eの記号を選び解答欄に記入せよ。

I. 熱傷面積の測定に関して正しいのはどれか。

1. 9の法則は小児の熱傷面積測定に利用価値が高い。
 2. 正確な面積を算出するにはLund-Browder表を用いるのがよい。
 3. 手掌法による計測は、患者の側の手掌面積を約1%とする
 4. 輸液の指標となる熱傷面積はIII度熱傷面積である
 a.1,3,4のみ b.1,2のみ c.2,3のみ d.4のみ e.1~4のすべて

解答 c 2004年卒試問46に類似 1) ×9の法則は成人、小児は5の法則

II. 化学損傷について正しいのはどれか。

1. 酸による損傷は深達性であることが多い。 2. 治療の第一は早期の大量の水による洗浄である。
 3. 苛性ソーダによる創面ではゼラチン状のなめらかな痂皮がみられる。
 4. 酸によるものはアルカリで、アルカリによるものは酸で中和する。
 a.1,3,4のみ b.1,2のみ c.2,3のみ d.4のみ e.1~4のすべて

解答 c 1) ×標準113 強酸であれば深達性、その他の酸は凝固壊死 2)、3) ○標準113

III. 分層植皮について正しいのはどれか。

1. 全層植皮に比べると大きな植皮片を採取することが可能である。
 2. 採皮部は縫縮することで治癒する。 3. 全層植皮に比べると生着しやすい。
 4. 術後色素沈着をおこしやすい。
 a.1,3,4のみ b.1,2のみ c.2,3のみ d.4のみ e.1~4のすべて

解答 a 2) ×そのまま治癒する 2004年4月26日授業プリントより

IV. 皮弁について正しいものはどれか

1. 主軸型皮弁(axial pattern flap)であれば任意の部位に任意の長さの皮弁を作製可能である。
 2. 皮弁の生着は移植片への移植床からの血行再開に依存する。
 3. 荷重部の再建には皮弁よりも植皮の方が適応となる。
 4. 眼瞼の全層欠損の再建には皮弁手術適応となる。
 a.1,3,4のみ b.1,2のみ c.2,3のみ d.4のみ e.1~4のすべて

解答 b 1○皮弁にはその血行の状態によって **axial pattern flap** と **random pattern flap** (乱軸血管型皮弁) に分けられる。**axial pattern flap** とは、その茎の中に特定の独立した一つの動静脈を有し、これらによって皮弁が養われる。従ってこの皮弁は血管のみを茎として生着が可能で、しかも血行がよいので種々の方向に移動が可能である。また遊離皮弁 **free flap** としても用いることができる。 2○標準529 3×皮弁の方が適応

問題3 以下の1)-5)の文について正しいものには○を、誤ったものには×を解答欄に記入せよ。

- 1)縫合創の抜糸は術後2週間にて行う。 2)抗生剤の局所投与は感染のコントロールに有効。
- 3)創傷治癒には創面を乾燥させることが重要である。
- 4)創傷管理の際にはいかなる場合に置いても消毒は不要である。
- 5)水道水による洗浄で創傷管理は可能である。

解答 1×2×3×4×5○ 1)×縫合創の抜糸は通常1週間で行うが、美容上問題となる部分では3-4日後に行い、縫合糸の痕が残らないようにする 2)×問題イマイチ。抗生剤は明らかな感染徴候が現れてから投与すべき 3)×湿潤をたもつべき 4)×創傷管理法の基本概念は□創傷治癒機転を阻害しない、□消毒レベルの場面に滅菌レベルの対応をしたり、洗浄レベルの場面に消毒レベルの対応をしたりしない、であるのでケースによっては消毒することあり 5)○問題イマイチ。熱傷の場合は可能。全ての創傷管理で可能であるかは分かりません。

問題4 以下のI~IVの設問に対し、1)-4)の記号を選び解答欄の一つ記入せよ。

I. 次のうち正しいものはどれか。

- a. 皮膚糸状菌(dematophyte)はケラチンを利用する。
- b. イヌ小孢子菌(Microsporum canis)はイヌの毛に常在する。
- e. *Candida albicans* はヒトの皮膚、粘膜、糞便に常在する。
- d. 癬菌(*Malassezia furfur*)の培養にはオリーブ油など脂質が必要である。

1)a,c,dのみ 2)b,cのみ 3)dのみ 4)すべて

解答 4) a○戸田878 ケラチンに特異的親和性を有し、それを分解する能力を持つ b○イヌ、ネコに常在 c○戸田865 d○戸田882

II. 次のうち正しいものはどれか。

- a. 股部白癬は陰囊に生じることが多い。 b. カンジダ性指間びらんは利き手の第3指間に多い。
- c. 癬菌は青年男子の頸部や胸部に多い。 d. リンパ管型スポロトリコーシスは高齢者の顔面に好発する。

1)a,c,dのみ 2)b,cのみ 3)dのみ 4)すべて

解答 2) a×標準419 鼠径部、大腿近位部などに初発 b標準426 水仕事を多くする職業従事者の利き手第3指間が好発部位 c○標準429 d標準431 スポロトリコーシスは幼少児あるいは40歳以上の壮年-高齢者の顔面、上肢などの露出部に好発する。リンパ管型スポロトリコーシスはリンパ管の走行に沿って皮疹が中枢側に向かって多発する。ゆえ、ここでは不適切×と考えた。

III. 次のうち正しいものはどれか。

- a. **Black dot ringworm** では毛髪内に白癬菌が侵襲する。
- b. 慢性皮膚粘膜カンジダ症(CMCC)では、しばしば副甲状腺などの内分泌異常を合併する。
- c. 黒色分芽菌症(chromoblastomycosis)の診断は病理組織内に **muriform cell (sclerotic cell)** を検出することによる。
- d. 口腔カンジダ症は白苔を苛性カリウム(KOH)検鏡することにより診断される。

1)a,c,dのみ 2)b,cのみ 3)dのみ 4)すべて

解答 4) a○標準419 毛髪内を毛髪の中、ではなくて毛髪と毛髪の間と考え○ b○標準427 c○標準434 d○標準427

IV. 次のうち正しいものはどれか。

- a. 爪白癬の治療は外用療法が第1選択である。 b. スポロトリキン反応は即時型の皮内反応を判定する。
c. スポロトリコーシスの治療にはグリセオフルビンが有効である。
d. 頭部浅在性白癬にステロイド外用剤を誤用するとケルスス禿瘡に移行することがある。

1)a,c,dのみ 2)b,cのみ 3)dのみ 4)すべて

解答 3) a×角質増殖型足白癬と爪白癬は経口剤の適応で、その他の足および手白癬は外用剤が第一選択 b×標準433、48時間に硬結の径を測定 c×皮膚糸状菌には有効。テルビナフィンハスポロトリコーシスに効くようだ。

問題5 以下のI-IVの設問に対し、記号を解答欄に記入せよ。

I. 以下のうち皮膚リンパ腫でないものはどれか。1-5の中から選び解答欄に一つ記入せよ。

1. EBウイルス関連リンパ増殖症 2. Sezary症候群 3. Cronkhite-Canada症候群
4. Paget病様細網症 5. 菌状息肉症

解答 3) 標準275 Cronkhite-Canada症候群：広汎性脱毛症と爪の形成異常を伴う胃腸のポリープで、散発的に発生する。

II. 菌状息肉症について正しい組み合わせを選び、記号a-eを解答欄に一つ記入せよ。

1. 紅斑期：紅斑から始まり、出没を繰り返す。 2. 浸潤・増殖する細胞はCD8陽性T細胞。
3. 直接死因は免疫能低下による感染症が多い。 4. 表皮内への腫瘍リンパ球浸潤(表皮向性)を示す。

a(1),(3),(4)のみ b(1),(2)のみ c(2),(3)のみ d(4)のみ e(1)-(4)のすべて

解答 a 2005年卒試問41に類似 標準356 腫瘍細胞は小型ないし中型のCD4陽性Tリンパ球で、表皮と真皮に浸潤。表皮への浸潤(表皮向性；epidermotropism)に伴い、Pautrier(ポートルエ)微小膿瘍を認める。紅斑期では、体幹、四肢に軽度の鱗屑を伴う淡紅～褐色斑を認め、消長を繰り返す。

扁平浸潤期では、境界明瞭な鱗屑を有し、扁平に隆起した紅色局面を認める。表皮向性が著明。

腫瘍期には、褐色～紫紅色の表面平滑な結節が既存の紅斑もしくは扁平浸潤の皮疹上に生じる。びらん、潰瘍を形成し、二次感染を伴いやすくなる。腫瘍細胞はやがて全身のあらゆる臓器へと浸潤し、感染症を合併しやすくなる。

III. 悪性腫瘍を伴う皮膚疾患はどれか。正しい組み合わせを選び、記号a-eを解答欄に記入せよ。

1. 基底細胞母斑症候群 2. Bazex症候群 3. 皮膚筋炎 4. 葡行性迂回性紅斑

a(1),(3),(4)のみ b(1),(2)のみ c(2),(3)のみ d(4)のみ e(1)-(4)のすべて

解答 e 2005年卒試問42に類似 基底細胞母斑症候群：標準306、342 基底細胞癌などを伴うことがある。

Bazex症候群：後天性掌蹠角化症で悪性腫瘍を伴う疾患。悪性腫瘍は上部消化管、上気道にみられるのが特徴的。角化性病変は顕著で掌蹠にとどまらず、鼻や耳介にまで及ぶことがある。

皮膚筋炎：悪性腫瘍合併率は、10～30%と報告されているが、中年以上の患者ではより高率に合併する。悪性腫瘍の種類としては、胃癌、乳癌、肺癌、大腸癌がわが国では多い。

葡行性迂回状紅斑：浮腫性の紅斑が遠心性に拡大し、隣の紅斑あるいは拡大した内側に新たな紅斑が生じ、入り交じって木目状となる。悪性腫瘍との合併がきわめて高いとされるが、典型的な本症をみることは稀。

IV. 1-5のうち誤っているものを一つ選び、数字を解答欄に記入せよ。

1. 全身性アミロイドーシスでは表皮直下にのみアミロイド沈着をしめす。
2. 甲状腺機能低下症では全身性粘液水腫を呈する。 3. 眼瞼黄色腫では必ず高リポ蛋白血症を認める。
4. ファブリー病ではびまん性体幹被角血管腫を認める。
5. ヘモクロマトーシスの色素沈着は表皮のメラニンの沈着による。

解答 5 2005年卒試問20に類似

- 2) 甲状腺機能亢進症では前頸骨部粘液水腫を認めることがある。重篤な甲状腺機能低下→粘液水腫昏睡
- 4) 標準289 Fabry病は皮膚科では、びまん性体幹被角血管腫としばしば呼ばれる。
- 5) 標準292 ヘモクロマトーシスの色素沈着は表皮の鉄の沈着による

問題6 以下の設問に対し、1-5の数字を解答欄に記入せよ。

I. 正しいものを3つ選べ。

1. 眼皮膚白皮症、1a型：チロシナーゼ陰性型では生涯色素は産成されない。
2. Chediak-Higashi症候群では出血傾向を示す 3. 肝斑にはトラネキサム酸の内服が有効
4. ミノサイクリンでは薬剤による色素沈着に注意が必要。
5. 抗悪性腫瘍剤では体幹部に色素沈着を生じやすい。

解答 1, 2, 3 2005年卒試問21に類似

- (1) ○標準205 チロシナーゼ陰性型ではメラノサイトは存在するがメラニン形成はない。
- (2) ○Chediak-Higashi症(CHS)の特徴の一つに「血小板の凝集能が異常であることと、血小板内のADP、セロトニン貯蔵の障害に起因する出血傾向」がある。
- (3) ○標準209 肝斑にはトラネキサム酸の内服がかなり有効(今日の診療プレミアム)
- (4) △その他の副作用に「長期服用で、皮膚や粘膜の色素沈着」があげられている。
- (5) ×体幹部というよりは指趾関節背面、爪囲、爪甲、口唇、舌などに色素沈着が見られることがある。

II. 正しいものを3つ選べ。

1. 神経線維腫症1型では高率に脳腫瘍を合併する。
2. 結節性硬化症では知能低下、てんかん発作、顔面の血管線維腫を生じる。
3. ポイツ・イエーガス症候群では口唇・手指・足趾の色素沈着と腸管ポリポージスを生じる。
4. スタージ・ウェーバー病では三叉神経第3枝領域に単純性血管腫を生じる。
5. 神経皮膚黒色症では脳軟膜、中枢神経、皮膚に母斑細胞が増殖。

解答 1, 2, 3 2005年卒試問44に類似

1 ○標準302 神経線維腫症2型(中枢型)はほとんど皮膚症状がなく、おもに両側性(ときに片側性)の聴神経鞘腫を生じ、聴力障害を呈する。しばしば髄膜腫や神経膠腫などの頭蓋内または傍脊柱腫瘍を伴う。1型(末梢型)は2型よりはるかに頻度が多く、皮膚の色素沈着斑と皮下腫瘍を臨床的特徴とする。色素沈着斑は生下時から存在し、体のいたるところにでき、大きさや色合いは様々である。神経線維腫とよばれる神経鞘の腫瘍が、皮下および皮下組織の末梢神経の走行に沿って、神経根から遠位部に至るあらゆる部位に多発性に生じる(ステッドマン)。

4 ×標準307 三叉神経第3枝領域ではなくて、第1、2枝領域の半側性単純性血管腫 5 ×標準304

問題7 以下のI-IIIの設問に対し、a~eの記号を選び解答欄に一つ記入せよ。

I. 疾患と病理組織像の組み合わせで正しいものを選べ

1. 尋常性乾癬・・・液状変性 2. 伴性遺伝性魚鱗癬・・・顆粒層の菲薄化または消失
 3. 非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症・・・顆粒変性 4. 扁平苔癬・・・コロイド小体
 5. Vorner(oにウムラルト)型掌蹠角化症・・・顆粒変性
- a)1,2 b)1,3 c)3,4 d)2,5 e)4,5

解答 e 2005年卒試問14、2004年卒試問19に類似

1 ×液状変性はSLE、皮膚筋炎、扁平苔癬など 2 ×伴性遺伝性魚鱗癬の顆粒層は正常 3 ×標準189 水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症は顆粒変性 4 ○扁平苔癬：不全角化、過角化、コロイド小体、基底層の液状変性など

II. 魚鱗癬について正しいものを選び

1. 後天性魚鱗癬は薬剤に誘発されて生じることがある。
2. コロジオン児(collodion baby)の基礎疾患には、水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症も含まれる。
3. 葉状魚鱗癬と非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症の原因は同じでトランスグルタミナーゼ 1 の遺伝子変異と同定されている。
4. 尋常性魚鱗癬ではしばしば掌蹠角化が認められる。

a)1,3,4 b)1,2 c)2,3 d)4のみ e)1-4のすべて

解答 a 1 〇後天性魚鱗癬：靴襠様鱗屑と亀甲様鱗屑パターンの分布が不規則で、症状の季節による消長がない。原因疾患には悪性腫瘍(リンパ腫や癌)、甲状腺機能低下や慢性消耗性疾患がある。また薬剤によることもある。

III. 乾癬について正しいものを選び

1. 乾癬は Th 1 型のサイトカインプロフィールを示す。
2. Kobner(o にウムラルト)現象は乾癬に特異的な現象である。
3. 乾癬では表皮細胞のターンオーバー時間が短縮している。
4. 乾癬の有病率は白人では約 5%で、日本人はその約 1/5(すなわち約 1%)である。
5. Auspitz 現象は外傷や搔破により新しい皮疹が誘発される現象である。

a)1,2 b)1,3 c)3,4 d)2,5 e)4,5

解答 b 2004年卒試問20に類似 1 〇尋常性乾癬は Th1 病の代表疾患 2 ×標準193扁平苔癬や青年性扁平疣贅でもみられる 4 ×乾癬の有病率は白人では約 1 - 3%で、日本人は約 0.02 - 0.1%

5 ×Auspitz 現象ではなく、Kobner 現象が外傷や搔破により新しい皮疹が誘発される現象で Auspitz 現象は紅斑局面上の鱗屑を剥離すると点状の出血をきたす現象。

問題 8 次の 1-3 の設問に対し、a-e の記号を解答欄に一つ記入せよ。

1. 次の悪性腫瘍のペアで悪性度が高いもの同士の組み合わせはどれか。
a. 日光性角化症, Paget 病 b. 悪性黒色腫, 血管肉腫 c. 有棘細胞癌, 基底細胞癌
d. 隆起性皮膚線維肉腫, 脂腺癌 e. Bowen 病, 脂肪肉腫

解答 b Paget 病の予後はよく、Paget 癌の予後は悪い。有棘細胞癌は分化度により予後に差がでる。基底細胞癌は転移しにくい。隆起性皮膚線維肉腫は低悪性度肉腫。Bowen 病は低悪性度で転移しない。

2. 次の組み合わせのうち最も関係の少ないものはどれか。

- a. 表皮嚢腫--Gardner 症候群
- b. 石灰化上皮腫--筋ジストロフィー
- c. 脂漏性角化症--Stewart-Treves 症候群
- d. 神経線維腫--von Recklinghausen 病
- e. 基底細胞癌--色素性乾皮症

解答 c 2005年卒試問39に類似

a 〇Gardner 症候群は多発性の表皮嚢腫、脂腺嚢腫、線維腫などの軟部組織腫瘍と大腸ポリポーシス、骨腫を 3 徴候とする常染色体優性遺伝性疾患。c ×Leser-Trelat 徴候：まれに内臓癌の皮膚表現として、脂漏性角化症が急激に多発する。

3. 81 歳の男性が 3 ヶ月前に出現した頭部の出血性腫瘍を主訴に来院した。次のうち考えられるものはどれか。

- 1)血管肉腫 2)脂肪腫 3)汗管腫 4)莓状血管腫 5)バジェット病
- a. (1)のみ b. (1),(4),(5) c. (2),(5) d. (3),(4) e. (1)-(5)になし

解答 a 血管肉腫は高齢者の頭部に好発。出血性局面、腫瘤形成を特徴とする。

問題 9 次の設問に対し、解答を一つ選び記号 a-e を解答欄に記入せよ。

1. 次の組み合わせのうち正しいものを選び。

- (ア)丹毒 : Staphylococcus aureus (イ)トキシックショック症候群 : Staphylococcus aureus
 (ウ)トキシックショック様症候群 : Streptococcus pyogenes
 (エ)壊死性筋膜炎 : Streptococcus pyogenes (オ)表皮剥奪毒素(ET) : Streptococcus pyogenes
 a. (ア)(イ)(ウ) b. (ア)(イ)(エ) c. (ア)(エ)(オ) d. (イ)(ウ)(エ) e. (ウ)(エ)(オ)

解答 d 丹毒→A 群 β 溶連菌 (Streptococcus pyogenes : 化膿レンサ球菌)、TSS 戸田 2 0 2 →黄色ブドウ球菌、

Toxic shock like syndrome 戸田 4 8 4 →A 群 β 溶連菌 (Streptococcus pyogenes : 化膿レンサ球菌)、壊死性筋膜炎→A 群 β 溶連菌 (Streptococcus pyogenes : 化膿レンサ球菌) or 黄色ブドウ球菌、ET→黄色ブドウ球菌

2. 次の文章の中で正しいものを選び。

- (ア)Bazin 硬結性紅斑は結核疹であり、病変部から結核菌が検出される頻度は低い。
 (イ)Bazin 硬結性紅斑の患者はツベルクリン反応陰性である。
 (ウ)ハンセン病はヒトを宿主とする病原菌によるもので、世界的に根絶されつつある。
 (エ)ハンセン病患者において病原菌に対する細胞性免疫が相対的に強い場合、類結核型を呈する。
 (オ)皮膚の非定型抗酸菌感染症で最も頻度が多いのは M. marinum である。
 a. (ア)(イ)(ウ) b. (ア)(イ)(エ) c. (ア)(エ)(オ) d. (イ)(ウ)(エ) e. (ウ)(エ)(オ)

解答 c (イ)×標準 3 9 8 ツベルクリン反応陽性 (ウ)×標準 4 0 4、戸田 6 6 4 世界ではまだハンセン病は重要な感染症の一つであり、中村哲医師もアジアでハンセン病と闘っていらっしやる。

3. 60 歳、女性。全身に多発する紅斑、38℃ 台の発熱を主訴に来院。全身のリンパ節腫脹あり。腹部に 7 ミリ大の黒色壊死を伴う潰瘍あり。10 日前、山で草取りをしたことがある。この症例につき、以下の文章で正しいものを選び。

- (ア)スピロヘータ感染症である。 (イ)福岡県でも発生する可能性のある疾患である。
 (ウ)Weil-Felix 反応 (OXK) 陽性である。 (エ)ヒゼンダニが媒体となる。
 (オ)マクロライド系抗生剤が有効である。
 a. (ア)(イ) b. (ア)(オ) c. (イ)(ウ) d. (ウ)(エ) e. (エ)(オ)

解答 c ツツガムシ病を考える 戸田 7 1 1 (ア)× リケッチア感染症 (ウ)○Weil-Felix 反応 : Proteus vulgaris の X 菌株と患者血清との凝集反応によってリケッチア症の有無、種類を調べる検査 (エ)× ツツガムシが媒体

4. 30 歳、男性。手掌、足底の鱗屑を伴う紅斑を主訴に来院。軀幹に淡い紅斑が多発している。皮疹部の掻痒なし。発熱などの全身症状なし。3 ヶ月前に風俗店に行き、2 ヶ月ほど前に陰茎に硬結があったが現在は、硬結は消退している。この症例に関して、次の文章のうち正しいものを選び。

- (ア)STS 陽性である。 (イ)2 ヶ月前にあった病変部からは病原体は検出されない。
 (ウ)尖圭コンジローマはこの症例の疾患に特有の皮膚病変である。 (エ)治療により TPHA が陰性化する。
 (オ)ペニシリン系抗生剤が有効である。
 a. (ア)(イ) b. (ア)(オ) c. (イ)(ウ) d. (ウ)(エ) e. (エ)(オ)

解答 b 梅毒を考える 戸田 6 7 8 (ア)○自己抗体 (レアギン抗体 : IgE) を検出する STS は感度が高く、感染の早期から陽性となる。(ウ)×尖圭コンジローマは HPV の 6 型と 11 型により起こる STD。潜伏期は数週間から数か月であるが、自然に消退することもある。(エ)×病原体が消えた後も陽性となる (オ)○ペニシリンが最大にして最強の武器!

2004年度概説試験

問題1. 以下の1)～5)の文章に対し、正しいものに○、誤っているものに×を解答欄に記入せよ。

- 1) ランゲルハンス細胞は神経堤由来である。
- 2) メラニンメラノサイトが産生し、表皮細胞には含まれない。
- 3) 天疱瘡ではヘミデスモゾームに対する自己抗体を認められる。
- 4) 類天疱瘡の水疱内には棘融解細胞が認められる。
- 5) 先天性表皮水疱症でケラチン5あるいは14の遺伝子異常が認められるものは、栄養障害型先天性表皮水疱症である。

(解答) 1) × 2) × 3) × 4) × 5) ×

- 1) ランゲルハンス細胞は骨髄由来です。(STEP 皮膚科 p.15)
- 2) メラノサイトで産生されたメラニンはケラチノサイトに移行します。(STEP 皮膚科 p.12)
- 3) デスモゾームの構成蛋白であるデスモグレインへの自己抗体が産生されます。(STEP p.170)
- 4) 棘融解はデスモゾームの変性・形成不全によるもので、天疱瘡などで起こります。(STEP p.51)
- 5) ケラチン5、14の異常は単純型です。栄養障害型は7型コラーゲンの異常です。(STEP p.181)

問題2. 以下の1)～6)の設問に対しa～eのうち1つを選び記号を解答欄に記入せよ。

I. Qスイッチルビーレーザーが著効するのはどれか。

1. 太田母斑
2. 異所性蒙古斑
3. 尋常性白斑
4. ポートワイン母斑

a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) b)

1. ○ 他にカバーマークで隠すという方法も場合によっては行われます。(STEP 皮膚科 p.262)
2. ○ Qスイッチルビーレーザー著効。年齢とともに消退傾向。
3. × 日焼けをさせるPUVA療法。健常部の皮膚移植も試みられています。(STEP 皮膚科 p.250)
4. × 色素レーザー光線治療。Sturge-Weber症候群、Klippel-Weber症候群の部分症状のことも。(STEP p.264)

II. アジソン病について正しいものを選び。

1. 副腎皮質機能不全により生じる。
2. 現在では、結核性が多い。
3. 全身の色素沈着、倦怠感、食欲不振などの症状を呈する。
4. 掌紋、膝、肘などの他、乳輪、腋窩、会陰部に色素沈着は強い。

a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) a)

1. ○ それによりメラノサイト刺激ホルモン、ACTH分泌が過剰になり、色素沈着が生じます。(STEP 皮膚科 p.256)
2. × 結核性のものが37%、特発性が42%です。結核によるものは激減。(year note 2004 D-58)
3. ○ 症状は、コルチゾール欠乏(やせ、脱力、食欲不振、低血糖、倦怠感)、アルドステロン欠乏(Na↓、K↑、低血糖、代謝性アシドーシス)、アンドロゲン欠乏(無月経、腋毛・恥毛の脱落、骨粗鬆症)、ACTH↑(色素沈着)からなる。(year note 2004 D-58)
4. ○ 頬粘膜、歯肉部の他、顔面、手背など衣服の擦れる部位、手のしわや腋窩など。(内科診断学 p.887)

III. 正しいものを選び。

1. アミロイドーシス：AL（免疫グロブリンL鎖）、AA（protein A）などの線維構造を有する特異蛋白が諸臓器の組織間隙に沈着する。
 2. エーラスダンロス症候群：皮膚の過伸展、関節の異常可動、皮膚血管の脆弱を主徴とする遺伝性コラーゲン合成異常症。
 3. 痛風結節：尿酸塩結晶に対する異物肉芽腫。
 4. ポルフィリン症：ポルフィリン体またはその前駆体の代謝異常で急性間欠性ポルフィリン症以外では日光暴露により紅斑、水疱などが生じる。
- a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) e)

1. ○ 原発性・多発性骨髄腫ではAL、続発性・遺伝性ではAAよりなる。(year note 2004 D-120)
2. ○ Ehlers-Danlos 症候群。膠原線維合成経路に異常があります。(STEP 皮膚科 p.242)
3. ○ 痛風結節は皮下結節で、結節自体には痛みはありません。偽痛風はリン酸カルシウム。(STEP p.241)
4. ○ ポルフォリン体はヘムを合成する途中の物質で、光線曝露により励起されます。急性間欠性ポルフォリン症では前駆体が蓄積するので光線過敏は見られません。(STEP 皮膚科 p.234-235)

IV. 結節性紅斑を生じやすい疾患を選び。

1. 溶連菌の上気道感染（咽頭炎、扁桃腺炎など）
 2. アナフィラクトイド紫斑 3. ベーチェット病 4. サルコイドーシス
- a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) a)

1. ○ 感染症で最多。(STEP 皮膚科 p.118)
2. × 名前の通り紫斑が起こります。紫というより紅色だそうです…。(STEP 皮膚科 p.130)
3. ○ 生じる疾患は他に潰瘍性大腸炎、Crohn 病、サルコイドーシス、リウマチなど。(STEP 皮膚科 p.118)
4. ○ 上記の通り。

V. 全身性エリテマトーデスの皮膚症状を選び。

1. 蝶形紅斑 2. 日光過敏 3. 円板状紅斑（狼瘡） 4. レイノー現象
- a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) e)

全身性エリテマトーデスの皮膚症状：蝶形紅斑、手掌および手指の紅斑、頭部脱毛、皮下硬結、皮下結節、光線過敏、粘膜疹。また、レイノー症状はほぼ必発。(STEP 皮膚科 p.203-205)

1. ○ 60%に見られます。(year note 2004 F-49)
2. ○ 顔面、耳介、前胸部 V 野に起こります。(STEP 皮膚科 p.205)
4. ○ 寒冷、振動、ストレスなどの刺激によって、手指に蒼白、チアノーゼ、紅斑の変化を生じ、数分でもとに戻る。

VI. 皮膚筋炎で正しいものを選び。

1. 成人では内臓悪性の合併が多い。 2. 肺線維症を伴うことがある。
 3. 治療の基本はステロイド剤の全身投与である。
 4. 手指関節背面の紅色丘疹（ゴットロン徴候）がみられることが多い。
- a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) e)

1. ○? 内臓悪性"腫瘍"だと思いますので○でしょう。(STEP 皮膚科 p.215)
2. ○ 間質性肺炎（肺線維症）は5-10%で見られます。(STEP 皮膚科 p.215)
3. ○ 血清CPK値を参考にしながら投与量を調節します。(STEP 皮膚科 p.216)
4. ○ 他に肘、膝などにも見られます。(STEP 皮膚科 p.214)

問題3. 以下の設問に対し a～e のうち1つを選び解答欄に記入せよ。

I. アトピー性皮膚炎に関して正しい組み合わせはどれか。

- (1) 年齢により皮疹の好発部位が異なる。 (2) 好酸球増多をきたしやすい。
 (3) 10～20代に白内障や網膜剥離をきたすことがある。
 (4) Th1 サイトカインの優位をきたしやすい。 (5) 皮膚のバリアー機能は正常である。
 a) 1, 2, 3 b) 2, 3, 4 c) 3, 4, 5 d) 1, 2, 5 e) 2, 4, 5

(解答) a)

1. ○ 部位だけでなく症状も異なります。(STEP 皮膚科 p.92)
2. ○ Th2 型免疫反応が優位になっていることに関連します。(STEP 皮膚科 p.91)
3. ○ 代表的な合併症です。他には感染症など。(STEP 皮膚科 p.95)
4. × Th2 が優位になっています。(STEP 皮膚科 p.90)
5. × 発汗・皮脂分泌が共に低下します。(STEP 皮膚科 p.91)

II. アトピー性皮膚炎に関して正しい組み合わせはどれか。

- (1) カボジ水疱様発疹症を合併しやすい。
 (2) 原因療法として食物除去療法を行うことがある。 (3) 肥厚性癬痕をきたしやすい。
 (4) ステロイド外用剤は禁忌である。 (5) IgE 高値をきたしやすい。
 a) 1, 2, 3 b) 2, 3, 4 c) 3, 4, 5 d) 1, 2, 5 e) 2, 4, 5

(解答) d)

1. ○ ウイルス感染が合併して起こります。(STEP 皮膚科 p.95)
2. ○ 特定のものを摂取した後に明らかに増悪する場合にそれを制限します。(STEP 皮膚科 p.96) 3.
- × 様々な症状がありますが、肥厚性癬痕はないようです。(STEP 皮膚科 p.92-93)
4. × 免疫抑制薬とステロイドが外用療法の基本です。(STEP 皮膚科 p.96)
5. ○ 80%の患者で高値です。(STEP 皮膚科 p.91)

III. アレルギー性接触皮膚炎に関して正しい組み合わせはどれか。

- (1) T細胞が関与する遅延型皮膚反応である。 (2) 原因検索にはパッチテストが有用である。
 (3) 脱感作療法がよく行われている。 (4) Th2 サイトカインの優位をきたしやすい。
 (5) ランゲルハンス細胞が抗原提示に関わっている。
 a) 1, 2, 3 b) 2, 3, 4 c) 3, 4, 5 d) 1, 2, 5 e) 2, 4, 5

(解答) d)

- (1) ○ 4型反応、つまり遅延型皮膚反応のプロトタイプです。(STEP 皮膚科 p.87)
- (2) ○ アレルギー性が疑われれば行います。(STEP 皮膚科 p.88)
- (3) × 原因物質を取り除き、ステロイド外用、抗アレルギー薬・抗ヒスタミン薬を内服します。
- (4) × Th1 優位のようなようです。(STEP 皮膚科 p.87)
- (5) ○ ランゲルハンス細胞は抗原提示細胞の一種です。

問題4. 以下の設問に対し a～e のうち1つを選び解答欄に記入せよ。

I. スポロトリコーシスの診断に有用なものは何れか。

1. スポロトリキン反応 2. 苛性カリウムによる直接検鏡
 3. 皮膚生検 (病理学的検査) 4. PDA (potato dextrose agar) 上の分離培養
 a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) ?

1. ○? スポロトリキン抗原による皮内反応は特異性が高く診断に有用、らしいです(戸田新細菌学 p.)
2. ? する、という資料はないようですが…。
3. ×? PAS 染色で菌要素を認めますが、有用ではないようです。(STEP 皮膚科 p.366)
4. ×? 培養はサブローブドウ糖寒天培地で行います。(STEP 皮膚科 p.366)

II. スポロトリコーシスについて正しいものは何れか。

1. 小児の顔面と高齢者の上肢に多い 2. 治療の第1選択はアンホテリシンBの点滴である
 3. 温熱療法が奏功する例がある 4. 原因菌は棘刺などの小さな傷から真皮に侵入する
 a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) a) ?

1. ○ 高温では発育しないので身体の末端に生じます。(STEP 皮膚科 p.366)
 2. ×? 関連する資料が見つかりませんでした。治療としてはヨードカリ、抗真菌薬を内服します。アンホテリシンBはポリエーテル系抗真菌薬です。(STEP 皮膚科 p.366)
 3. ○ 熱傷に注意しましょう。(STEP 皮膚科 p.366)
 4. ○ 自然界の常在菌で、外傷から侵入します。(STEP 皮膚科 p.366)

III. 次の白癬のうち通常内服療法の適応となるのは何れか。

1. 股部白癬 2. 頭部白癬 3. 爪白癬 4. 趾間型足白癬
 a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) c) ?

基本的に浅在性は外用、深在性は内服のようです。

1. ×? 選択肢より。浅在性なので外用?
 2. ○? 選択肢より。深在性となりケルスス禿瘡となると内服します。(STEP 皮膚科 p.361)
 3. ○ 爪白癬は抗真菌薬を内服して治療します。(STEP 皮膚科 p.361)
 4. × 趾間型は外用。角化型は内服して治療します。(STEP 皮膚科 p.360)

I V, 次の疾患と原因菌の組合せのうち正しいものは何れか。

1. 黒色分芽菌症...*Fonsecaea pedrosoi* 2. 頭部白癬...*Microsporum canis*
 3. 乳児寄生菌性紅斑...*Cryptococcus neoformans* 4. スポロトリコーシス...*Aspergillus flavus*
 a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) b)

1. ○ 臨床的にはクロモミコーシスと呼ばれるそうです。(STEP 皮膚科 p.367)
 2. ○ ペットから感染して頭部白癬を起こし、ケルスス禿瘡にいたる事も。(STEP 皮膚科 p.361)
 3. × カンジダ(大部分は *Candida albicans*)によるおむつかぶれの事です。(STEP 皮膚科 p.363)
Cryptococcus neoformans はクリプトコッカス症の原因菌。
 4. × 原因菌は *Sporothrix schenckii*。(STEP 皮膚科 p.366)
Aspergillus flavus はアスペルギルス症の原因菌。

問題5. 以下の設問に対し a ~ e のうち1つを選び解答欄に記入せよ。

I. 魚鱗癬について正しいものを選べ

1. 水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症の原因はケラチン1又はケラチン10の遺伝子変異と同定されている。
 2. コロジオン児 (collodion baby) の基礎疾患として最も重症なのは、非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症である。
 3. 後天性魚鱗癬は重篤な栄養障害に伴うことがある。
 4. 尋常性魚鱗癬ではしばしば毛孔一致性の角化が認められる。

- a) 1, 3, 4のみ b) 1, 2のみ c) 2, 3のみ d) 4のみ e) 1-4のすべて

(解答) e) ?

1. ○ ケラチン線維が異常となり、表皮細胞同士の結合が弱くなります。(STEP 皮膚科 p.187)
 2. ○ 分娩された時にフィルム状の膜に覆われています。(STEP 皮膚科 p.188)
 3. ○? 悪性腫瘍の合併が特徴らしいのでそれにより栄養障害が起こる...?
 4. ○ 毛孔性角化とあるのでおそらく○ではないでしょうか。

II. 疾患と病理組織像の組み合わせで正しいものを選べ

1. 道化師様魚鱗癬・・・・・・・・・・層板顆粒の異常または欠如
 2. 伴性遺伝性魚鱗癬'・・・・・・・・・・顆粒層の非薄化または消失
 3. 扁平苔癬・・・・・・・・・・コロイド小体
 4. Thost-Unna 型掌蹠角化症・・・・顆粒変性
 5. 膿疱性乾癬・・・・・・・・・・液状変性
- a) 1, 2 b) 1, 3 c) 3, 4 d) 2, 5 e) 4, 5

(解答) b)

1. ○ 他に角層肥厚、角質細胞内の多数の脂肪滴。(4/21 授業プリント)
2. × 顆粒層は正常です。角質肥厚が起こります。(4/21 授業プリント)
3. ○ 苔癬型組織反応が多数起こります。(4/21 授業プリント)
4. × Thost-Unna 型は顆粒変性(-)。顆粒変性(+)は Vorner(o にウムラウト)型
5. × 病理組織所見では Kogoj 海綿状膿疱を認めます。

III. 乾癬について正しいものを選べ

1. 乾癬では高年発症の方が若年発症より遺伝要因の関与が大きいと言われている。
 2. Auspitz 現象は外傷や搔破により新しい皮疹が誘発される現象である。
 3. 滴状乾癬は溶連菌感染症の1～2週間後に発症することが多い。
 4. 乾癬は人種別では白人>東洋人>黒人の順に多い。
 5. Kobner (o にウムラウト) 現象は乾癬に特異的な現象である。
- a) 1, 2 b) 1, 3 c) 3, 4 d) 2, 5 e) 4, 5

(解答) c)

1. × 選択肢より。
 2. × 鱗屑を剥離していくと点状出血を認める現象です。(STEP 皮膚科 p.47)
- この文は Kobner (o にウムラウト) 現象の説明。
3. ○ 皮疹の1～2週間前に咽頭炎や扁桃炎が先行することが多いです。
 4. ○ 本邦の有病率は0.02～0.1%。白人は2～3%。
 5. × 乾癬、扁平苔癬、自家感受性皮膚炎、青年性扁平疣贅などで見られます。(STEP p.47)

問題6. 以下の設問に対し a～e のうち1つを選び解答欄に記入せよ。

1. 76歳女性が、「数年前から顔面にイボがある」との主訴で来院した。現症として直径約1cmの扁平隆起性黒褐色局面が右頬に見られ、顔面の他部位には老人斑が多発していた。考えられる疾患はどれか。
1. 脂漏性角化症 2. Paget 病 3. 日光角化症 4. Bowen 病
- a) 1のみ b) 1, 3, 4 c) 2, 3 d) 2, 4 e) 1-4のすべて

(解答) a)

1. ○ 良性の腫瘍で80歳を超えるとほぼ100%の人にみられます。(STEP 皮膚科 p.276)
2. × 顔に出来ることはあるのでしょうか・・・?
3. × 生じるのは紅斑のようです。(STEP 皮膚科 p.149)
4. × 中年以降の?幹、四肢に生じる褐色調の角化局面です。(STEP 皮膚科 p.282)

II. 「皮膚原発性上皮性悪性腫瘍であり、進行しても転移はごく稀である。」この記載にあうものはどれか。

1. 基底細胞癌 2. 隆起性皮膚線維肉腫 3. 石灰化上皮腫 4. 有疎細胞癌
- a) 1のみ b) 1, 3, 4 c) 2, 3 d) 2, 4 e) 1-4のすべて

(解答) a)

1. ○ 中年以降の顔面に前駆症状なしに好発。転移は稀。(STEP 皮膚科 p.285)
2. ×? 選択肢より。線維芽細胞様紡錘形細胞の増殖からなる低悪性度肉腫。
3. × 真皮下層～皮下組織層にわたる毛母細胞由来の良性腫瘍。(STEP 皮膚科 p.279)
4. × 転移を起こします。(STEP 皮膚科 p.285)

III. 次の悪性黒色腫に関する記載で誤りはどれか。

1. 悪性黒色腫は白人より有色人種に生じやすい。
 2. 巨大先天性色素性母斑は悪性黒色腫の発生母地として重要である。
 3. Spitz 母斑は悪性黒色腫になる確率が高い。
 4. 結節型悪性黒色腫は放射線、抗癌剤に反応がよいため他型より予後がよい。
- a) 1のみ b) 1, 3, 4 c) 2, 3 d) 2, 4 e) 1-4のすべて

(解答) b)

1. × 逆です。白人に多く、黄色人種は少なく、黒人にはまれです。(STEP 皮膚科 p.288)
2. ○? 巨大色素性母斑は発生母地になるようです。(STEP 皮膚科 p.292)
3. ×? そのようなデータは見つかりませんでした…。
4. ×? 他の病型に比べ悪性度が高いようです。

問題7. 以下の設問に対し a～eのうち1つを選び解答欄に記入せよ。

- | | | |
|---------------------------------------|----|-------------------------------|
| 1. ウイルス感染症の治療とワクチンの正しい組み合わせはどれか。2つ選べ。 | | |
| | 疾患 | 治療 ワクチン |
| a. 水痘 | | アシクロビル 弱毒生ワクチン |
| b. C型肝炎 | | インターフェロン 成分ワクチン |
| c. 単純疱疹 | | ガンシクロビル なし |
| d. インフルエンザ | | リバビディン 不活化ワクチン |
| e. 麻疹 | | 対処療法 弱毒生ワクチン |

(解答) a, e a. ○ b. × ワクチンはまだ開発されていない。

c. × 治療はアシクロビル、バラシクロビル。 d. × リバビディンはC型肝炎の治療薬。 e. ○

II. 皮膚の黄色ブドウ球菌感染症について正しい記述を選びなさい。

1. 毛包性膿皮症の原因菌として最も分離頻度が高い。
 2. 肝疾患を有する患者のMRSAによる壊死性筋膜炎が有明海沿岸で問題となっている。
 3. 伝染性膿痂疹では血中に表皮剥奪毒素 (ET) を証明できる。
 4. 表皮剥奪毒素 (ET) はデスマグレイン1を切断する酵素活性を持つ。
 5. 菌DNAのパルス電気泳動パターンにより院内感染源の検討が可能である。
- a) 1, 2, 3 b) 1, 2, 5 c) 1, 4, 5 d) 2, 3, 4 e) 3, 4, 5

(解答) c) ?

1. ○ 多くは黄色ブドウ球菌が原因です。(STEP 皮膚科 p.319)
2. ×? ありうる話ですがよく分かりません。
3. × 血中には入りません。入るとSSSS(ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)となります。
4. ○ そのようです。 5. ○? 選択肢より。

III. 最近の性感染症の動向について正しいものを選びなさい。

1. 最近のサーベイランスにおいて最も頻度が高い性感染症は淋疾である。
 2. 本邦でのHIV感染症患者は増加している。
 3. 梅毒スピロヘータのペニシリン耐性はほとんどみられていない。
 4. 尖圭コンジローマの原因ウイルスとしてはHPV-16が主流となっている。
 5. 泌尿器以外のクラミディア感染症はほとんどみられていない。
- a) 1, 2 b) 1, 5 c) 2, 3 d) 3, 4 e) 4, 5

(解答) c)

1. × 選択肢より。
2. ○ 異性間の性的接触による患者の増加が著しくなっている。
3. ○ ペニシリン療法にて治療します。
4. × HPV6型と11型が80~90%を占めています。(STEP 皮膚科 p.350)
5. × オウム病、肺炎などが有名です。

問題8. 以下の設問に対し記号を解答欄に記入せよ。

45歳女性。体重50kg。熱湯をかぶり左肩関節から左指先までの熱傷を受傷して来院。左上肢は全面に水疱が認められ、一部は破れている。針で穿刺すると痛みを感じる。右上肢を含めてその他の部位に熱傷はない。

- I. 受傷面積は? 1. 約5% 2. 約10% 3. 約20% 4. 約30%
- II. 左上肢の熱傷の重症度は 1. 1度熱傷 2. 2度熱傷 3. 3度熱傷 4. 4度熱傷

I (解答) 2. 9の法則では9%、5の法則では10%です。

II (解答) 2. 紅斑で1度、水疱・びらんで2度、壊死・炭化で3・4度となります。

III. 熱傷について下記の文の正しいものには○、誤ったものには×をつけなさい。

1. できるだけ早期から抗生物質の投与を行う
2. 水疱蓋はできるだけ早期にすべて除去する。
3. 毎日の包交では消毒液を十分に使用する。
4. 後遺症として癒痕拘縮があげられる。

(解答) 1. × 2. ×? 3. × 4. ○

1. × 菌交代現象を避けるために初期には投与しない。
2. ×? 痂皮下で上皮化を待つとのことなので×? 3. × 消毒は不要。
4. ○ 真皮深層で癒痕化することのこと。

問題9. 下記の文の正しいものには○、誤ったものには×を解答欄に記入せよ。

1. 光線過敏性皮膚症の発症機序には光毒性と光アレルギー性がある。
2. 種痘様発疹症は近年サイトメガロウイルスの持続感染症であることが判明した。
3. 色素性乾皮症は紫外線によるDNA損傷を修復できないことより生じる。
4. 褥瘡は臨床所見より、緑色期、黄色期、赤色期、白色期に区別される。

(解答) 1. ○ 2. × 3. ○ 4. ×

1. ○ 2. × EBウイルスです。
3. ○ 4. × 黒色期(黒色壊死)、黄色期(黄色壊死)、赤色期(肉芽形成)、白色期(上皮化)です。

問10. 正しい文章の組み合わせはどれか。a~eの記号を1つ選び解答欄に記入せよ。

1. 日焼け(sun burn)は中波紫外線UVBによる。
 2. 可視光線は皮膚深部にまで到達する。
 3. 春先(3-4月)が最も紫外線が強い。
 4. 皮膚の「しわ」や「たるみ」は長波紫外線UVAによる。
 5. 最も強く紫外線を透過させない色は黒色である。
- a) 1, 2, 3 b) 1, 2, 5 c) 1, 4, 5 d) 2, 3, 4 e) 3, 4, 5

(解答) b)

1. ○ UVBは真皮上層あたりまで侵入して日焼けを起こします。(STEP 皮膚科 p.143)
2. ○ 真皮血管や異物が皮表より透見出来るのはそのためです。(STEP 皮膚科 p.145)
3. × 選択肢より。春先に強まるようですが最も強いわけではない?
4. × 被覆部の細かいしわは加齢によるものなので×?
5. ○ 白はよく透過させ、黒は白の1/10程度しか透過させないようです。

問題 1 1. 以下の設問に対し a～e のうち 1 つを選び解答欄に記入せよ。

1. 次の文章で正しいものはどれか。
 - a) ATL の皮膚病変の頻度は極めて低い。
 - b) 菌状息肉症では好中球の表皮内微小膿瘍がみられる。
 - c) 高齢者の下腿に B 細胞性のリンパ腫が生じる事がある。
 - d) 皮膚原発 CD 30 陽性リンパ腫は極めて予後不良である。
 - e) 皮膚では B 細胞リンパ腫が T 細胞リンパ腫より圧倒的に多い。

(解答) c)

- a) × 皮膚浸潤は約 50% の患者に見られます。(STEP 皮膚科 p.299)
- b) × 異型リンパ球の大小の腫瘍が形成されます。(STEP 皮膚科 p.295)
- c) ○? 生じることもあるのでは…?
- d) × 予後の良い例もあります。(STEP 皮膚科 p.301)
- e) × T 細胞性が 70～80% を占めます。(STEP 皮膚科 p.294)

II. 次の文章で正しいものはどれか。

- a) 糖尿病では皮膚の血管障害がおこることはまずない。
- b) 眼瞼には高コレステロール血症による黄色腫のみが起こる。
- c) ステロイド長期内服により多毛となることがある。
- d) 遅発性皮膚ポルフィリン症は慢性の腎障害に起因する。
- e) 内臓病変に関連して基底細胞癌が多発するものをレーザー・トレラ症候群という。

(解答) c) ?

- a) ×? まずない、とは言い切れないような…。
- b) ×? 高コレステロール血症では眼瞼にも黄色腫が起こりますが…。
- c) ○? 比較的短期間で起こるようですが…。
- d) ? 透析により起こることはあるようですが…。
- e) × 脂漏性角化症が多発するものを言います。(STEP 皮膚科 p.276)

III. 次の文章で誤ったものはどれか。

- a) 尋常性乾癬における表皮増殖は IL-6 などのサイトカインの作用による。
- b) 菌状息肉症は CD 4 陽性 T リンパ球の腫瘍性病変である。
- c) ケラチノサイトは接着分子を発現する。
- d) 肥満細胞はヒスタミンとプロスタグランディンを分泌し、サイトカインなどは分泌しない。
- e) ランゲルハンス細胞は情報を T リンパ球に提示する。

(解答) a) ? d) ?

- a) ×? IL-6 は関与していないようです。
- b) ○ 紅斑期、扁平浸潤期を経て腫瘍期となります。(STEP 皮膚科 p.295)
- c) ? 接着分子というのが何のことかイマイチ分かりませんが、ケラチンを発現します。(STEP 皮膚科 p.6)
- d) ×? サイトカインを分泌するという資料がチラホラあります。
- e) ○ 病原体が皮膚内に侵入すると、病原体を補足し、所属リンパ節へと遊走し、抗原情報を T リンパ球に伝達します。(STEP 皮膚科 p.15)

問題 12. 以下の設問に対して記号 a ~ e を選び解答欄に記入せよ。

I. 36歳の男性。3週間より尿管結石のためアロプリノールを内服していた。3日前より口腔内びらんと歯肉腫脹を呈してきたため歯科処置を受けたところ、口腔症状は増悪し摂食困難となり、さらに手掌・足底に1cmまでの紅斑が出現してきた。この症例につき正しいものを2つ選べ。

- a) 直ちに入院し、治療開始する。
- b) 眼瞼、陰部の粘膜症状はないので外来治療で十分である。
- c) アロプリノール内服を中止する。
- d) アロプリノール内服は継続してよい。
- e) Darier's sign 陽性である。

(解答) a), c)

アロプリノールによる固定薬疹だと考えられます。

- a) ○ 重症例は入院治療を原則とします。(4/30 授業プリント)
- b) × 摂食困難という事から十分とは言えません。
- c) ○ 原因薬剤の投与は中止します。(4/30 授業プリント) d) × 同上。
- e) × 肥満細胞腫(色素性蕁麻疹)で見られる著しい隆起です。(STEP 皮膚科 p.47)

II. 蕁麻疹関連疾患について正しいものを1つ選べ。

- a) 蕁麻疹では白色描記症がみられる。
- b) 蕁麻疹では好酸球増多をきたしやすい。
- c) クイнке浮腫は遺伝性のものが非遺伝性より多い。
- d) コリン性蕁麻疹は神経質な青年に多い。
- e) 食物依存性運動誘発性アナフィラキシーをおこす食物は米が最も多い。

(解答) d) ?

- a) ×赤色描記症です。白色はアトピー性皮膚炎。 b) ×そのような資料は見つかりませんでした。
- c) ×? 遺伝型はわが国に十数家系ということで遺伝性の方が少なそうですが…。
- d) ○? 青年期には多いようです。 e) × 小麦が原因と考えられているようです。

III. 薬疹の病型と原因薬剤の組み合わせで正しいものを2つ選べ。

- a) 固定薬疹：バルビツール b) Hypersensitivity syndrome：副腎皮質ステロイド薬
- c) 光線過敏型：ビタミンC d) 扁平苔癬型：アスピリン e) 色素沈着型：ミノサイクリン

(解答) a) c)

a) ○ 解熱消炎鎮痛薬が60%、そのほかにもフェニトイン、アロプリノール、ミノサイクリン (STEP 皮膚科 p.167)

- c) ○ 抗菌薬、抗癌剤などで起こります。ビタミンCの欠乏または代謝障害が関与しているとか。
- d) × 金製剤、サイアザイド系利尿薬、ACE阻害薬、β₂ブロッカー、抗結核薬、降圧薬のメチルドーパ、テトラサイクリン (STEP 皮膚科 p.165) e) × 抗腫瘍剤により起こるそうです